

平成30年度

教育委員会事務の点検・評価報告書

(平成29年度事業)

平成30年10月

南砺市教育委員会

目 次

I	平成30年度 点検及び評価実施方針	1
II	平成29年度 教育委員会活動状況	2
III	平成29年度 教育委員会審議決定事項	4
IV	教育委員会 組織・機構図	8
V	教育委員会の業務	9
VI	平成29年度 南砺市教育委員会重点施策	10
VII	平成29年度 教育委員会施策体系並びに事業概要と評価	15
VIII	学識経験者の意見について	64

I 平成30年度 点検及び評価実施方針

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、南砺市教育委員会は、市民への説明責任を果たすため、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、課題や取組みの方向性の確認をすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。

2 点検・評価の対象

平成29年度の教育委員会の運営状況及び事務事業の執行状況

3 点検・評価の方法

(1) 自己点検評価

南砺市総合計画後期基本計画及び南砺市教育振興基本計画を踏まえた「平成29年度南砺市教育委員会重点施策」に基づき、教育委員会の活動状況及び事務事業の執行状況について点検・評価を行う。

(2) 学識経験者の知見の活用

下記の学識経験者から教育委員会の自己点検評価結果に対する意見を聴き、報告書に記載する。

学識経験者（平成29年度委嘱、任期3か年度）

職名	氏名	主な経歴等
委員長	土田 信久	井波美術協会会長
委員	武部 範代	南砺市連合婦人会会長
委員	宮川 義文	南砺市PTA連絡協議会会長(H29)
学識経験者（平成30年度委嘱、任期3か年度）		
委員	畠中 昌代	南砺市母子保健推進員連絡協議会会長

※経歴は委嘱当時

(3) 議会への報告及び公表

点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、南砺市ホームページへの掲載、情報公開窓口への備え付け等により公表する。

Ⅱ 平成29年度 教育委員会活動状況

1. 教育長、委員選任状況

(平成30年3月31日現在)

職	氏名	性別	主な経歴	任期	教育長、 委員通算 在任年数	役職任期	常勤 非常勤 の別	保 護 者
教育長	高田 勇	男	元中学校長	H27. 12. 7～ H30. 12. 6	2年3月 新(1期)		常勤	
				H25. 4. 1～ H27. 12. 6	2年8月 (1期)			
務代理者 教育長職	岩井 透	男	元中学校長	H25. 12. 22～ H29. 12. 21	4年 (1期)	H28. 12. 24～ H29. 12. 21	非常勤	
務代理者 教育長職	碓井 好彦	男	元小学校長	H26. 12. 7～ H30. 12. 6	3年3月 (1期)	H29. 12. 22～ H30. 12. 6	非常勤	
委員	江川由貴子	女	元中学校PTA役員	H27. 12. 22～ H31. 12. 21	2年3月 (1期)		非常勤	○
委員	林 紀孝	男	県PTA連合会参与 元市PTA連絡協議会長 元県PTA連合会副会長	H28. 12. 24～ H32. 12. 23	1年3月 (1期)		非常勤	○
委員	水上 和夫	男	元小学校長	H29. 12. 22～ H33. 12. 21	3月 (1期)		非常勤	

* 教育委員の任期は4年間、新教育長の任期は3年間

2. 委員構成 (H30. 3. 31 現在)

年齢：60歳代 3人、40歳代 2人

3. 教育委員会の開催状況

(1) 会議開催数

定例会	9回
臨時会	3回

(2) 付議案件数

協議事項	58件
報告事項	53件
計	111件

(3) 委員の出席率：100%

(4) 会議の公開：原則公開

4. その他の主な活動状況

会議・行事	回数・月日	場 所	出席状況
総合教育会議	H29. 10. 5 H30. 3. 19	南砺市	出席委員 5 人
学校訪問研修	1 8 回	小学校 9 校 中学校 8 校	参加委員 5 人
先進地視察研修	H30. 2. 22	石川県珠洲市	参加委員 4 人
市議会出席	定例会 4 回 臨時会 4 回	市議会議場	教育長
県市町村教育委員会連合会 定期総会及び研修会	H29. 6. 28	富山市	出席委員 5 人
同 研修会	H29. 10. 25	砺波市	出席委員 5 人
西部地区地方教育委員会連絡会 総会及び中央講師招聘講演会	H29. 7. 3	高岡市	出席委員 5 人
同 研修会	H29. 11. 28	氷見市	出席委員 5 人
砺波地区地方教育委員会連絡協議会 定期総会及び視察研修	H29. 6. 12	南砺市	出席委員 4 人
同 教育委員等研修会	H29. 11. 28	南砺市	出席委員 5 人
平成 2 9 年度市町村教育委員研究協 議会	H29. 9. 29	富山市	出席委員 2 人

Ⅲ 平成29年度 教育委員会審議決定事項

1. 定例会

回（開催日）	審 議 決 定 事 項
第1回 (H29. 4. 13)	協議事項 (1) 平成29年度教育委員会重点施策について (2) 南砺市立図書館雑誌スポンサー制度実施要綱の一部改正について (3) なんと！やさしい子育て応援起業認定制度実施要綱の制定について
	報告事項 (1) 平成29年度3月定例会一般質問等の要旨について (2) 市職員の人事異動について (3) 平成28年度 卒園児図書館共通カードの発行状況について
第2回 (H29. 5. 22)	協議事項 (1) 富山県市町村教育委員会連合会理事の選出について (2) 南砺市社会教育委員の委嘱（案）について (3) 南砺市スポーツ推進審議委員の任命（案）について (4) 南砺市平若者センター条例の一部改正について (5) 南砺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について (6) 南砺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する規則の一部改正について (7) 南砺市放課後児童クラブ事業実施要綱の一部改正について (8) 中央図書館休館日の変更について（7月～8月） (9) 中央図書館開館時間の変更について（福光ねつおくり七夕祭り期間） (10) 文化財の新規指定について
	報告事項 (1) 平成29年度6月補正予算について (2) 平成29年度南砺市奨学金の貸与について (3) 平成29年度学校訪問研修について (4) 平成29年度教科書展示会の開催について (5) 教職員研修計画一覧について (6) SSW、特別支援教育コーディネーター、早期支援コーディネーターの訪問活動について (7) 「子育て相談のご案内」の配付について (8) 南砺市民大学講座、放課後子ども教室（土曜学習）推進事業の実施について (9) 南砺市社会教育指導員の委嘱について (10) 南砺市スポーツ推進委員の委嘱について (11) 南砺市立図書館の利用状況について (12) 南砺市立図書館の団体貸出状況と年齢別実利用状況について (13) 全国・山・鉾・屋台保存連合会総会「城端大会」について
第3回 (H29. 7. 4)	協議事項 (1) 南砺市母子保健法に基づく低体重児の届出及び養育医療の給付等に関する規則の一部改正について (2) 南砺市伝統的建造物群保存地区保存条例施行規則の一部改正について

	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成29年度6月定例会一般質問等の要旨について (2) 第13回南砺市小学校連合運動会について (3) 平成29年度砺波地区中学校総合選手権大会について (4) スマートフォン等の利用に関する意識アンケート結果について (5) 夏季教職員研修実施要項について (6) 南砺市民大学講演会の結果について (7) チャレンジデーinなんと2017の結果について (8) 教育部所管施設指定管理者の公募等のスケジュールについて (9) 公民館関係駐車場舗装等工事請負契約の締結について (10) 平成29・30年度南砺市図書館協議会委員の任命について (11) 図書館雑誌スポンサーの応募状況について
<p>第4回 (H29. 8. 9)</p>	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成29年度教育委員会事務の点検・評価報告書(案)について (2) 平成29年度9月補正予算要求の概要について (3) 南砺市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度重点事業要望について (2) 出退勤時刻等自己記録表について (3) 山村留学定住事業「夏休み森と水の自然体験キャンプ」について (4) 中学校部活動の北信越・全国大会等への出場について (5) ふるさと教育推進事業について (6) 中学生学習支援推進事業の申込み結果について (7) 登録有形文化財登録(国)について
<p>第5回 (H29. 9. 25)</p>	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成29年度教育委員会事務の点検・評価報告書(案)について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成29年度9月定例会一般質問等の要旨について (2) 中学生学習支援事業の結果報告について (3) 南砺市民大学講座、なんと市民学遊塾(後期)の実施について (4) 第72回国民体育大会出場選手について (5) 平成30年度入園申込み受付について
<p>第6回 (H29. 11. 20)</p>	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成29年度11月専決補正予算の概要について (2) 平成29年度12月補正予算の概要について (3) 平成29年度教育委員会表彰候補者について (4) なんと!やさしい子育て応援企業表彰選考委員会設置要綱の制定について (5) 南砺市ひとり親家庭等医療費助成条例の一部改正について (6) 所得税法等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係規則の整備に関する規則について (7) 南砺市高等職業訓練促進給付金等事業実施要綱の一部改正について (8) 南砺市自立支援教育訓練給付金事業実施要綱の一部改正について (9) 国登録有形文化財の登録手続きについて(白山宮鞘堂) <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 南砺市内小学校給食における異物混入について (2) 社会科学習内容系統図の紹介 (3) なんと!やさしい子育て応援企業認定制度の認定及び表彰企業について

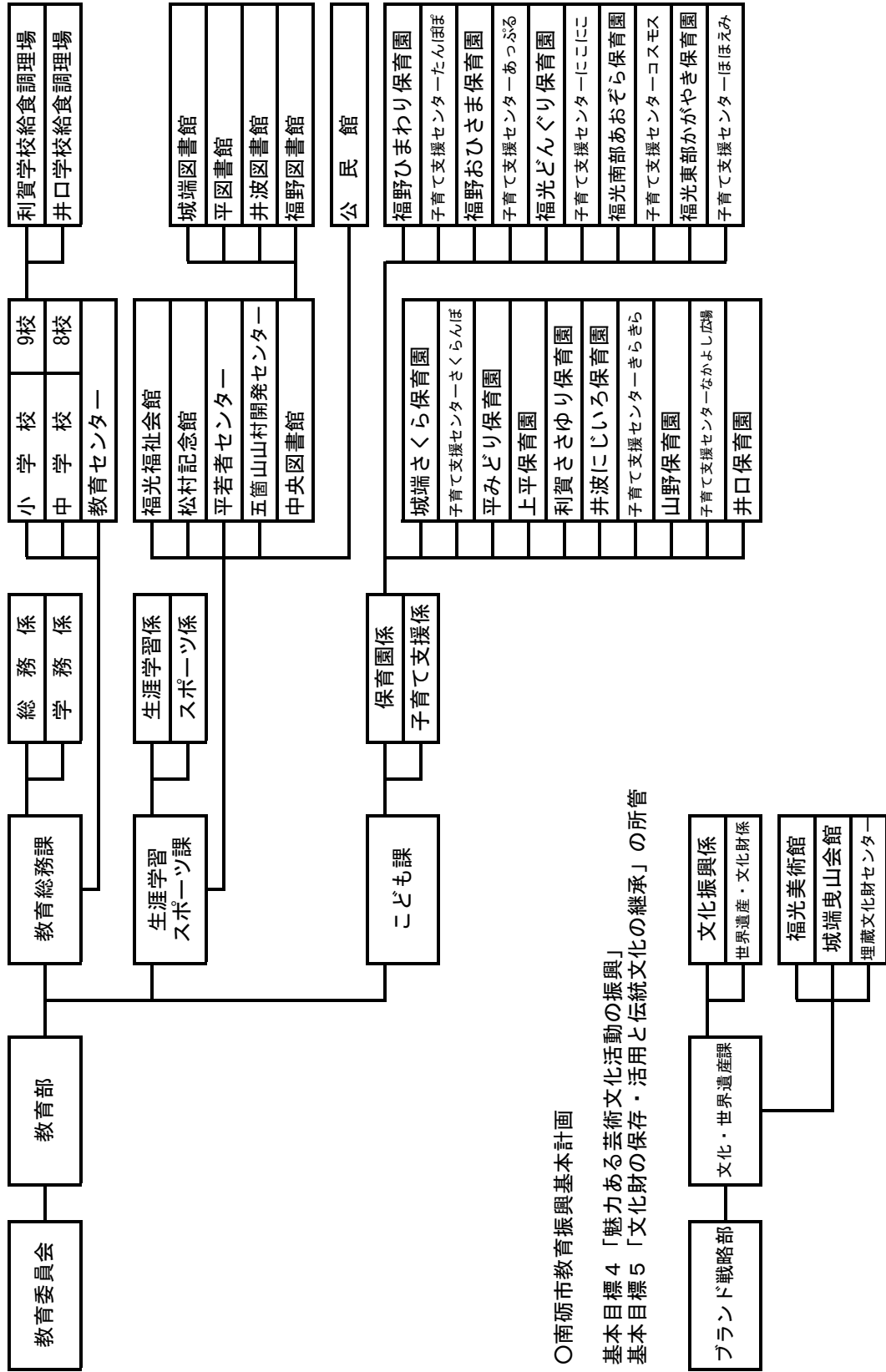
<p>第7回 (H29. 12. 25)</p>	<p>協議事項 (1) 南砺市教育委員会の組織について (2) 平成29年度教育委員会表彰候補者について (3) 平成30年度教育委員会予算要求の概要について</p> <p>報告事項 (1) 南砺市議会12月定例会一般質問等の要旨について (2) (仮称)井口地域小中一貫校設置協議会について (3) 南砺市奨学資金貸与制度について</p>
<p>第8回 (H30. 2. 5)</p>	<p>協議事項 (1) 平成29年度教育委員会表彰候補者の追加について (2) 平成29年度3月補正予算要求概要について (3) 井口地域小中一貫校設置協議会設置要綱の制定について (4) 南砺市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の制定について (5) 南砺市たいらスキー場施設条例の一部改正について (6) 南砺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について (7) 文化財の新規指定について(木造阿弥陀如来坐像(井波地域))</p> <p>報告事項 (1) 井口地域小中一貫校設置協議会(第1回)について (2) 新入学児童生徒学用品費等(入学準備金)の前倒し支給について (3) 平成30年南砺市成人式の状況について (4) 平成30年度教職員研修計画について</p>
<p>第9回 (H30. 3. 12)</p>	<p>協議事項 (1) 平成30年度教育委員会重点施策(案)について (2) 平成30年度当初予算(案)の概要について (3) 南砺市学校管理規則の一部改正について (4) 南砺市奨学資金支援助成金交付要綱の一部改正について (5) 南砺市井波総合文化センターの附属設備の利用料金の額についての告示の一部改正について (6) 南砺市城端伝統芸能会館の附属設備の利用料金の額についての告示の一部改正について (7) 南砺市保育園条例の一部改正について (8) 南砺市こども医療費助成に関する条例施行規則及び南砺市妊産婦医療費助成に関する条例施行規則の一部改正について (9) 南砺の3人っ子助成金交付要綱の一部改正について (10) 南砺市ファミリー・サポート・センターひとり親家庭利用支援事業実施要綱の一部改正について (11) 南砺市放課後児童クラブ事業実施要綱の一部改正について (12) 南砺市要保護児童対策地域協議会設置要綱の一部改正について (13) 南砺市高等職業訓練促進給付金等事業実施要綱及び南砺市自立支援教育訓練給付金事業実施要綱の一部改正について</p> <p>報告事項 (1) 平成30年度全国・学力学習状況調査の実施について (2) 南砺市相倉民俗館条例及び南砺市五箇山民俗館及び塩硝の館条例の一部改正について (3) 南砺市五箇山民俗館及び塩硝の館条例施行規則の一部改正について (4) 平成29年度卒園児図書館共通利用カードの発行状況について</p>

2. 臨時会

回（開催日）	審 議 決 定 事 項
第 1 回 (H29. 8. 2)	協議事項 平成 3 0 年度使用小学校教科用図書採択候補について
第 2 回 (H29. 9. 4)	協議事項 平成 2 9 年度教育委員会事務の点検・評価報告書（案）について
第 3 回 (H30. 3. 30)	協議事項 (1) 南砺市教育委員会事務局組織規則の一部改正 (2) 南砺市教育委員会事務決裁規程の一部改正 (3) 南砺市学校職員服務規程の一部改正

IV 教育委員会 組織・機構図

平成29年4月1日現在



○南砺市教育振興基本計画

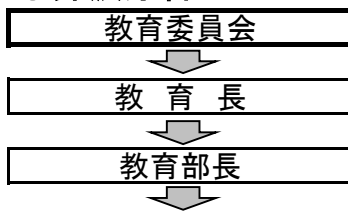
基本目標4 「魅力ある芸術文化活動の振興」

基本目標5 「文化財の保存・活用と伝統文化の継承」の所管

V 教育委員会の業務

平成29年4月1日現在

○井波庁舎



課 電話番号	係	所管業務
教育総務課 23-2012	総務係	<ul style="list-style-type: none"> ■総合教育会議 ■教育委員会会議 ■教育重点施策の企画立案及び総合調整 ■教育行政に関する相談、請願及び陳情 ■学校その他教育機関の設置及び廃止 ■育英奨学に関する事務 ■教育に関する調査及び統計
	学務係	<ul style="list-style-type: none"> ■通学区事務 ■学校の施設・設備の整備、維持管理及び営繕 ■児童生徒の就学、入学、転学及び退学事務 ■学校の指導、管理及び運営 ■学校の保健、環境衛生及び学校給食事務 ■教育センター事務 ■幼保小連携事務
生涯学習 スポーツ課 23-2013	生涯学習係	<ul style="list-style-type: none"> ■生涯学習の振興に係る事業の調査企画及び総合調整 ■家庭教育、成人教育及び女性教育 ■青少年健全育成 ■社会教育委員、社会教育関係団体事務 ■公民館活動及び公民館運営審議会事務 ■児童生徒の交流事業 ■公民館、図書館等その他社会教育機関との連絡調整 ■文化センター及び勤労青少年ホーム等事務
	スポーツ係	<ul style="list-style-type: none"> ■生涯スポーツ、競技スポーツの普及及び振興 ■スポーツ振興審議会及びスポーツ推進委員事務 ■社会体育団体の育成及び支援 ■総合型地域スポーツクラブ支援
こども課 23-2010	保育園係	<ul style="list-style-type: none"> ■保育園の運営管理 ■保育料の決定及び徴収 ■保育指導及び特別保育事業 ■保育園審議会 ■保育園臨時職員の採用及び募集 ■保育園職員の研修 ■私立保育園・認定こども園(幼稚園)に対する補助及び運営支援 ■子育て支援センター事業関係
	子育て 支援係 (女性・こども 相談室)	<ul style="list-style-type: none"> ■児童福祉団体事務 ■母子、父子、及び寡婦福祉法に係る業務 ■ひとり親家庭等医療及びこども・妊産婦医療費助成・養育医療給付 ■子ども・子育て支援事業計画 ■児童手当、児童扶養手当、及び特別児童扶養手当 ■出生祝い金 ■児童館(児童センター)の管理運営 ■放課後児童クラブの管理運営及び事業補助関係 ■児童虐待対策、こども及び子育て相談、並びに女性相談 ■ファミリーサポートセンター ■児童遊具設置等補助 ■発達障害児の支援 ■「とやまっ子」子育て応援券 ■手形メモリアルレリーフ ■南砺の3人っ子助成金 ■ひとり親世帯子育て応援事業

南砺市教育委員会重点施策

基本理念（教育目標）

本市では、次のことを教育目標として掲げます。

未来を切り拓く南砺の人づくり

基本目標

教育目標の実現のため、本市教育の目指すべき方向を踏まえて、次の6つを基本目標とします。

1 豊かな心を育む学校教育の充実

児童生徒の「豊かな心」を育むために、知・徳・体の調和のとれた教育を推進します。家庭学習の定着を図り、基礎的・基本的な学力を確実に身に付けるよう努めるとともに、笑顔と元気があふれる子どもたちの教育環境を整え、一人ひとりの個性や能力を伸ばし、自分を生かすことができる教育を目指します。また、将来地元を支える活力につながる「ふるさと教育」を推進することで、ふるさとを知り、ふるさとに学び、ふるさとを愛する児童生徒を育てていきます。

2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進

市民が心豊かで生きがいのある人生を送れるよう、さまざまな講座・講演会を開催します。今後も、各種生涯学習講座の内容をさらに充実させ、市民の学習意欲や満足度を高めるとともに、学びの場をとおして子どもたちに対する家庭や地域の教育力の向上を図ります。また、生涯学習施設の学習環境改善のため、今後も計画的に改修工事を実施します。

3 健やかな心と体を育む生涯スポーツの推進

各ライフステージで市民の誰もがそれぞれのライフスタイル、興味・関心、適正等に応じてスポーツ活動に参画し、健康で生きがいのある生活が営まれるよう、子どものスポーツの機会や親しむことができる環境の充実、総合型地域スポーツクラブの育成、全国や世界で活躍できる選手の育成、市民のスポーツ活動を支える人材の育成と活用に努めます。

4 文化財の保存・活用と伝統文化の継承

文化財等は地域の歴史や文化を正しく理解するうえで欠かせない市民共有の財産であり、その適切な保存整備に努めます。また、文化財の情報発信や活用に取り組むことで、文化財の価値や保存継承の大切さについて理解促進を図り、地域に対する誇りや愛着の醸成、地域の宝を後世に継ぐ担い手の育成に努めます。

5 子どもが健やかに育つ子育て環境の充実

保護者等が、就労しながら無理なく子育てができるよう支援体制の充実に取り組み、子どもが、心身ともに健全に育つ環境づくりを進めます。

保育士の確保と資質の向上に努め、保育環境の充実を図るとともに、保育園の保育サービスを充実し、認定こども園等の幼児教育を支援します。

また、児童館や放課後児童クラブなどの児童の居場所づくりを推進し、児童の健全な育成及び共働き世帯の子育てと仕事の両立を支援します。

6 子どもへの喜びや生きがいを持てる子育て家庭への支援

保護者等が、喜びや生きがいを持てる子育てができる環境づくりを進めます。

今後も、子育て支援サービスの機能及び、特別に支援が必要な子や、子育て等に関する相談体制の充実をめるとともに、保育料の軽減やこども医療費などの助成により経済的負担の軽減を図り、あらゆる面から子育て家庭への支援を充実させます。

また、ひとり親家庭への就労支援や資金貸付制度、子育て応援制度の充実を図り、自立に向けた支援に努めます。

平成29年度の主な取組

総合教育会議をはじめ、教育委員会と市長とのさらなる連携強化を図るとともに学校・家庭・地域社会が一体となって下記の具体的な事業に積極的に取り組みます。

※は南砺幸せなまちづくり創生総合戦略で取り組む事業

1 豊かな心を育む学校教育の充実

—ふるさとを誇りに思い、未来を切り拓く なんとっ子の育成を目指して—

(1) 確かな学力の育成

- ① 教員の授業力向上に向けた研修の実施
- ② 小・中学校の連携の強化
- ③ 兼務発令による小・中学校教員の授業交流の促進
- ④ なんとっ子まなびサポーター（国語・算数（数学）学習サポーター）の配置
- ⑤ 「とやま型学力向上総合支援事業」の推進
- ⑥ 小・中学校へのALT派遣による外国語活動の充実
- ⑦ 児童生徒の学力を把握し指導の改善に役立てる「全国標準学力検査」の実施

※⑧ 短期山村留学事業の実施《新》

※⑨ 学校教育におけるICTを活用した遠隔協働学習実証事業

⑩ 英語検定（3級以上）助成事業の実施

※⑪ 奨学資金支援助成事業の実施

（2）自他を尊重し、他を思いやる心の育成

※① 「ふるさと教育推進事業」の推進

※② 「NORINTENでふるさと教育」の実施《新》

③ 市いじめ問題対策会議を核にした子どもいじめ防止対策の推進

④ 「いじめ早期発見・早期対応のためのアンケート」の実施

⑤ よりよい学校生活と友達づくりのための「小・中学校生活アンケート調査」の実施

⑥ 特別支援教育コーディネーターによる特別な支援を必要とする児童に対する「個別の教育支援計画」等の立案・策定への支援

⑦ 早期支援コーディネーターによる幼・保・小の連携を通じた特別な支援が必要となる可能性がある子どもと保護者への情報提供及び相談体制の充実

⑧ スクールソーシャルワーカー、適応指導員等による相談体制の充実

⑨ 適応指導教室運営研修の実施《新》

⑩ スタディメイトの配置による支援体制の充実

⑪ 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」事業の実施

⑫ 学校図書館担当職員（学校図書館司書助手）の配置による読書環境の整備・充実

（3）健やかな体の育成

① 地元食材を通して食と地域への理解を深める「なんとハートフルランチ」「なーんと！おいしい学校給食週間」の実施

② 中学校部活動へスポーツ指導員を派遣

（4）学校教育環境の整備

① 井波小学校大規模改修工事

② 福光中部小学校大規模改修工事《新》

③ 井波中学校長寿命化改修工事

④ 教育ネットワーク機器の更新《新》

⑤ 教育用パソコンの更新《新》

⑥ 教育教材備品の整備

⑦ 電子黒板機器等の整備

⑧ 学校図書館図書の本の整備

2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進

（1）生涯学習活動の推進

① 「南砺市民大学講座」「なんと市民学遊塾」「緑の里講座（高齢者大学）」の実施

② 心豊かな子どもを育てる子ども体験活動の実施

③ 各小学校区で小学校の余裕教室等を活用した「放課後子ども教室」「土曜学習推進事業」の実施

④ 中学生が夏休みを過ごす際の学習の場を提供する「中学生土曜学習推進事業」の実施《新》

⑤ 社会教育団体の活動への支援

⑥ 地区高齢者学級への支援

⑦ 幼・保・小・中中で開催される子育て講座等、家庭の教育力向上への支援

⑧ 「なんとっ子家庭教育10か条」の活用

⑨ 蔵書の充実とレファレンスサービスの向上による利用者ニーズに対応した図書館サービスの充実

(2) 公民館活動への支援

- ① 地域活動の拠点となる地区公民館の自主的な活動への支援
- ② 地域や公民館活動を通じた家庭教育の推進
- ③ 公民館職員の資質向上に向けた研修会等の実施

(3) 青少年健全育成活動への支援

- ① 地域に密着した活動を実施している青少年育成市民会議への支援

(4) 生涯学習施設の整備・充実

- ① 公民館駐車場舗装工事（福野北部・東太美）《新》
- ② 旧山田保育園駐車場改修工事《新》
- ③ 井波総合文化センター重量物電動吊りマシン類更新工事《新》
- ④ 福野文化創造センター冷温水発生機更新工事《新》

3 健やかな心と体を育む生涯スポーツの推進

(1) 各種スポーツ大会・教室の開催

- ① 運動遊びの大切さについて理解を深める「なんと元気っ子教室」の継続（保育園・幼稚園）
- ② ニュースポーツ、レクリエーションスポーツなどの生涯スポーツの紹介及び推進
- ③ 南砺市の特徴を生かしたスポーツ大会の誘致及び開催

(2) スポーツ活動への支援

- ① 体育協会によるスポーツ競技力・選手と指導者の育成強化等への支援
- ② 全国大会等のスポーツ大会出場への支援

(3) 体育施設の効率的な管理・運営体制の確立

- ① 各体育施設の指定管理者による効率的な管理運営の推進

(4) 社会体育施設の整備・充実

- ① 福光プール熱源設備補給水用加圧ポンプ取替工事《新》
- ② 城端温水プール真空給水ポンプユニット取替工事《新》
- ③ トラップ射撃場飛散防止ネット部分張替工事《新》
- ④ 城南スタジアムスポーツトラクターの更新《新》
- ⑤ 桂湖浮棧橋更新工事《新》

4 文化財の保存・活用と伝統文化の継承

(1) 文化・歴史遺産の保存と活用

- ① 指定文化財等の適切な保存・活用と普及啓発の推進
- ② 古文書などの歴史資料や民俗文化財、埋蔵文化財の保存と調査・活用の推進
- ③ 指定文化財以外の合掌造り家屋等茅葺き建造物の屋根葺替え等修理事業の実施
- ④ 地域の貴重な建造物の保存と活用のため、国の登録文化財制度を活用

(2) 文化財収蔵・展示施設の機能充実

- ① 埋蔵文化財センター展示の充実、体験学習会の開催
- ② 民俗文化財保管施設の充実

5 子どもが健やかに育つ子育て環境の充実

(1) 幼児教育・保育サービスの充実及び支援

- ① 保育園・認定こども園等における教育・保育の量の確保及びサービスの充実
- ② 子ども・子育て支援事業計画に基づき、質の高い教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の計画的な実施（子ども・子育て会議の開催）

- ③ 子どもや保護者等を支援するための保育士研修の充実
- ④ 保育士・看護師等の人材確保
- ⑤ 健やかな保育環境の確保のための施設・設備の整備（施設・設備修繕、備品購入）
- ⑥ 私立保育園・認定こども園等への支援の充実（施設型給付の支給、特別保育事業への支援、私立認定こども園福野青葉幼稚園改築整備事業への支援）

（２） 児童の居場所づくりの推進

- ① 児童館事業の充実
- ② 児童館及び放課後児童クラブの受入態勢の充実
- ③ 地域主体の学童保育への財政支援

6 子どもへの喜びや生きがいを持てる子育て家庭への支援

（１）子育て支援サービスの充実

- ※① 子育て支援センターやファミリー・サポート・センター機能の拡充（子育て交流サロンの実施）
- ※② 第3子以降の保育料無料化や各種の保育料軽減等による経済的支援の拡充（多子軽減、三世帯同居軽減、移住定住世帯の保育料無料化）
- ※③ こども医療費等の医療費助成制度の拡充
- ※④ 出生祝い金支給制度の拡充
 - ⑤ 児童手当等の給付
- ※⑥ 高校生から大学生までの兄弟が2人以上いる高校生の家庭へ医療費や通学定期補助の支援（南砺の三人っ子政策事業）
 - ⑦ 子どもの貧困支援の推進

（２）児童・子育て家庭相談の充実

- ① 発達障がい児や特別な支援が必要な子の専門的な支援の充実（訪問、個別相談会、教室・講座の開催）
- ② 女性・こども相談室やわらび学園等関係機関の専門の相談員による支援体制の充実
- ③ 要保護児童等の早期発見や適切な保護、未然防止を図るための要保護児童対策地域協議会の開催

（３）ひとり親家庭の自立支援

- ① 修学資金・福祉資金等の貸付制度の周知徹底
- ② 自立支援等に関する随時相談の実施
- ※③ ひとり親世帯子育て応援制度の実施
- ※④ 母子家庭等就業自立支援事業の実施
 - ⑤ ファミリー・サポート・センターひとり親家庭等利用支援事業の実施《新》

（４）親の育成

- ① 次代の親の育成のため保育園・児童館等でのボランティア活動の受入促進
- ② 子育て支援センター等における子育て教室・講座の開催
- ※③ 夫婦が家庭で家事・育児をする意識の啓発及びイクメンを育成する講座の開催（イクメン応援事業）

VII 平成29年度 計画の体系と評価

南砺市教育振興基本計画 (H27.3 策定)

(H28.9 改定)

【基本理念】 未来を切り拓く南砺の人づくり

基本目標	No.	基本施策	評価	担当課
1 豊かな心を育む学校教育の充実	(1)	確かな学力の育成	A	教育総務課
	(2)	自他を尊重し、他を思いやる心の育成	B	
	(3)	健やかな体の育成	A	
	(4)	学校教育環境の整備	A	
2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進	(1)	生涯学習活動の推進	A	生涯学習
	(2)	公民館活動への支援	A	スポーツ課
	(3)	青少年健全育成活動への支援	A	
	(4)	生涯学習施設の整備・充実	A	
3 健やかな心と体を育む生涯スポーツの推進	(1)	各種スポーツ大会・教室の開催	A	生涯学習
	(2)	スポーツ活動への支援	B	スポーツ課
	(3)	体育施設の効率的な管理・運営体制の確立	A	
	(4)	社会体育施設の整備・充実	A	
4 魅力ある芸術文化活動の振興	(1)	「文化芸術振興プラン」の推進	A	文化・
	(2)	芸術文化活動への支援	B	世界遺産課
	(3)	文化ホール・美術館などの事業の充実	A	
5 文化財の保存・活用と伝統文化の継承	(1)	世界遺産マスタープランの推進	B	文化・
	(2)	文化財収蔵・展示施設の機能充実	B	世界遺産課
	(3)	文化・歴史遺産の保存と活用	B	
6 子どもが健やかに育つ子育て環境の充実	(1)	幼児教育・保育サービスの充実及び支援	A	こども課
	(2)	児童の居場所づくりの推進	A	
7 子どもへの喜びや生きがいを持つ子育て家庭への支援	(1)	子育て支援サービスの充実	A	こども課
	(2)	児童・子育て家庭相談の充実	A	
	(3)	ひとり親家庭の自立支援	B	
	(4)	次世代の親の育成	A	

ア 計画の体系

基本目標	1 豊かな心を育む学校教育の充実	担当課	教育総務課
基本施策	(1) 確かな学力の育成		
主な取組	① 幼・保・小連携事業の推進 ② 小中連携事業の推進 ③ 少子化に対応した活力ある学校づくり ④ 情報活用能力の向上 ⑤ 確かな学力の育成 ⑥ 教員の資質・指導力の向上 ⑦ 教育の機会均等		

イ 主な指標（達成度）

項目	小中	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	参考値(H29)	
					国	県
授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていると回答した児童生徒の割合	小学生	82.1%	95.0%	0.86	88.2%	87.7%
	中学生	90.5%	95.0%	0.95	87.8%	89.5%
授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと回答した児童生徒の割合	小学生	80.1%	85.0%	0.94	76.1%	77.4%
	中学生	73.5%	85.0%	0.86	66.1%	65.0%


ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	<p>全国学力・学習状況調査において、「授業のはじめに、目標が示されている」や、「授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていた」と回答した児童生徒の割合は、中学校では全国、県の平均を上回ったが、小学校においては一項目で下回った。</p> <p>「とやま型学力向上プログラム」では、福野小学校と福野中学校を拠点校に指定し、市内外の学校等に対して公開授業等実践研究成果の普及を図った。また、市教育センターでは、外部講師を招いた研修会や講演会を開催した。</p> <p>児童生徒のつまずきを解消するため、「なんとっ子まなびサポーター」の活動時間を増やし、学習内容のさらなる定着を図るようサポートした。</p> <p>幼・保・小連携の取組として、幼児期から小学校へ円滑に情報を引き継ぐため、早期支援コーディネーターを増員した。</p> <p>利賀地域山村留学定住事業は、短期山村留学（森と水の自然体験キャンプ）を実施し、市外から13名の参加があった。</p>

エ 今後の取組と改善点

<p>全国学力・学習状況調査の結果から、特に小学生においては、以前より児童の家庭学習時間の短いことが課題であることから、家庭と連携を図りながら、より効果的な解決策を探っていく。</p> <p>「なんとっ子まなびサポーター」の配置により、児童生徒のつまずきを解消し、学力の向上を図る。</p> <p>山村留学定住事業では、引き続き短期留学を実施し、参加者のニーズや動向を注視しながら長期留学の制度設計を進める。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
とやま型学力向上プログラム	<p>【研究課題】見通しをもって、主体的に学ぶ子供の育成</p> <p>【実施校】福野小学校（平成 29～30 年度）</p> <p>【研究課題】確かな学力を身に付け、共に高めあう生徒の育成</p> <p>【実施校】福野中学校（平成 28～29 年度）</p>	420
市単独講師の配置	<p>小学校 1 人（井口）</p> <p>中学校 1 人（平）</p>	6,395
外国語指導助手（ALT）の配置	<p>外国語指導助手 7 人 （JET 2 人、委託 5 人）</p> 	32,821
なんとっ子まなびサポーターの配置	<p>小学校 11 人 中学校 11 人</p>	14,546
標準学力検査（NRT）の実施	<p>小学校 3・4・5 学年 4 教科×1, 163 人</p> <p>中学校 1・2 学年 5 教科× 761 人</p>	2,873
小中学校教育用電子黒板整備事業	<p>電子黒板 8 台（城端小、井波小、各 4 台）</p> <p>電子黒板用パソコン 8 台</p> <p>オフィスソフトライセンス 8 ライセンス</p> <p>タブレット PC 40 台（城端小、井波小、各 20 台）</p>	18,252
教育セミナー（教職員研修事業）	<p>南砺市教育センター主催の教育研修事業として実施</p> <p>【名称】学級づくり研修</p> <p>【実施日】平成 29 年 8 月 21 日【受講者】46 人</p>	60
山村留学定住事業	<p>短期山村留学「森と水の自然体験キャンプ」の実施</p> <p>南砺市利賀地域山村留学定住推進協議会の開催</p> 	3,913
早期支援コーディネーター配置事業	<p>早期支援コーディネーター 2 人</p>	2,425

ア 計画の体系

基本目標	1 豊かな心を育む学校教育の充実	担当課	教育総務課
基本施策	(2) 自他を尊重し、他を思いやる心の育成		
主な取組	① ふるさと学習の推進 ② いじめの根絶 ③ 特別な支援を必要とする児童生徒への支援 ④ 読書活動の奨励 ⑤ キャリア教育の推進		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	市立図書館での貸出冊数(外数)
児童一人当たりの学校図書館月平均貸出冊数	5.0 冊	8.0 冊	0.63	1.7 冊
生徒一人当たりの学校図書館月平均貸出冊数	0.4 冊	2.0 冊	0.20	0.3 冊
自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合	小学生 74.2% 中学生 71.1%	小学生 80.0% 中学生 80.0%	0.92 0.88	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
B	B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。
	C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。

ふるさと教育推進事業では、各小中学校が「なんとの日」など、郷土の理解を深める活動に取り組み、井口小学校5・6年生が「井口地域の人々の生き方」について、井口中学校1～3年生が「井口地域の活性化」をテーマに「私たちの願い」を具体化した提言を行った。

児童生徒のいじめの防止等に関係する機関、団体等の連携を図るため、南砺市いじめ問題対策連絡会議を2回開催し、いじめの現状等について意見交換を行った。


不登校が長期化しないよう、スクールソーシャルワーカーによる巡回、各種相談会の開催、適応指導教室における個別支援に努めた。特別支援教育コーディネーターは、学校の要請に応じて機動的に支援を行った。また、複数で対応することにより正確な見立てをし、効果的な指導助言を行うことに努めている。

学校図書館貸出冊数については、依然として目標値とは開きがあり、小学校において、やや増加したが、中学校ではやや低下した。日常的に読書に親しむ児童生徒の育成が課題である。

エ 今後の取組と改善点

<p>ふるさと教育推進事業は、小学校1校、中学校1校が、ふるさとについて学習・体験したことをもとに、地域の伝統や自分たちの思い、未来の南砺市発展のための提案を校内で市長に行う。市長が学校へ出向いて提言を聞くことで、より多くの児童生徒も一緒に学ぶことができる。</p> <p>南砺市いじめ基本方針の内容を改定する。併せていじめ対策防止パンフレットの内容も見直し、児童生徒及び保護者への周知を図るとともに、いじめの根絶に向けて取り組んでいく。</p> <p>複雑化する様々な学校の問題に対し、解決の支援を行うための専門職員であるスクールアドバイザーを配置する。</p> <p>児童生徒が興味のある分野やこの年代に是非読んで欲しい本を積極的に購入し、図書室へ足を運んで手にとって借りたくなるような、読書に親しみやすい環境づくりを進める。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
ふるさと教育推進事業	<p>【目的】ふるさとを愛し誇りに思う心を育成 【実施期間】4月3日～3月23日 【事業内容】地域の講師を招聘した、体験的な学習活動や地域の特性を生かした学習活動等 【交付金】8万円を基準とし、学級数に応じて加算</p> 	2,000
子どもいじめ防止対策事業	いじめ問題対策連絡会議委員 10人	80
スクールカウンセラー配置事業（県事業）	臨床心理士等の資格を有する者を一部の小学校と全中学校に配置しカウンセリングを実施 小学校 5校 中学校 8校	予算計上なし
スタディ・メイトの配置	スタディ・メイト 26人 小学校 7校 中学校 4校	44,637
適応指導員の配置	適応指導員 14人 小学校 5校 中学校 6校	10,248
地区相談会事業	乳幼児から成人まで、本人、保護者、学校等関係者からの相談事業を実施 【実施回数】18回 【相談件数】36件	27
教育相談のつどい	大学准教授、臨床心理士による個別相談を実施 【実施回数】大学准教授、臨床心理士 8回	203
適応指導教室	適応指導教室「いおう教室」運営費	3,167
スクールソーシャルワーカー・特別支援教育コーディネーター活用事業	教員、特別支援学校教員の資格を有する者を教育センターに配置し相談を実施 スクールソーシャルワーカー・特別支援教育コーディネーター 3人	6,218
社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業	事業所数 176社 参加生徒数 400人	1,619
学校図書館司書助手の配置	学校図書館司書助手 17人 小学校 9校 中学校 8校	4,957

ア 計画の体系

基本目標	1 豊かな心を育む学校教育の充実	担当課	教育総務課
基本施策	(3) 健やかな体の育成		
主な取組	① 望ましい食習慣の形成 ② 体力・運動能力の向上や部活動の支援		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	参考値(H29)	
				国	県
朝食を毎日食べている 児童生徒の割合	小学生 96.4%	小学生 100.0%	0.96	95.4%	96.4%
	中学生 96.2%	中学生 100.0%	0.96	93.2%	95.7%
週に1、2日以上運動する 児童生徒の割合（体育授業除く）	小学生 89.0%	小学生 95.0%	0.93		
	中学生 86.0%	中学生 95.0%	0.90		

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	

朝食を毎日食べている児童生徒の割合は、概ね小中学校とも全国、県平均を上回っている。週に1、2日以上運動する児童生徒の割合については、平成28年度に比べ、小学校では1ポイント増加したが、中学校では1ポイント減少した。


市内の小中学校では、11月の1週間を「な～んと！おいしい学校給食週間」に設定し、南砺市産の地場産物を多く取り入れた献立を実施した。地場産物を給食に取り入れることで、地域の食材や郷土料理への関心を高め、食を通じて郷土を大切にす気持ちや生産者への感謝の気持ちを育むことをねらいとしている。

児童生徒の健康診断結果を基に、適正な指導で疾病予防等に取り組んだ。

エ 今後の取組と改善点

<p>給食だよりを活用し朝食の欠食、偏食・孤食などの防止を積極的に広報する。食育月間を通して、しっかり噛んで食べることを身につける取組を実施し、各家庭で食事や食育について考えてもらえるよう親子会食を引き続き実施する。</p> <p>南砺市地場産食材活用推進協議会と連携して地場産食材を積極的に活用し、食を通じて、生産者への感謝や地域の理解を深め、郷土料理など食文化の継承を図る。</p> <p>学校部活動の充実や生徒の体力向上のため、スポーツエキスパート派遣事業を引き続き行うが、部活動の在り方ガイドラインに基づき、適切な練習時間や休養日を設定するとともに、部活動指導員を配置し、学校部活動支援体制の充実を図る。また、生涯学習スポーツ課や市内スポーツクラブ等とも連携し、スポーツ少年団からの継続的な指導体制を整える。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
各種大会参加補助金	国、地方公共団体または学校体育団体、学校文化団体及びこれらと関連する公的団体が主催または共催、後援する大会への参加補助金 小学校 40件 中学校 165件	18,381
生徒児童の健康診断に係る事業	小中学校児童生徒の健康管理のため、学校医等による健康診断を実施 尿検査、心電図検査を委託により実施	8,138
スポーツエキスパート派遣事業	学校運動部活動の充実、生徒の体力向上及び地域社会と運動部活動との連携を図るため、スポーツエキスパートを派遣 59人	3,552
児童生徒の望ましい食生活の普及事業	学習発表会のPTA展示エリアにおいて、食育展示コーナーを設け、「学校給食レシピ集」のレシピ、野菜摂取のすすめ等についての展示 栄養教諭が講師となり、「学校給食レシピ集」を活用して親子料理教室を1校で実施	34
なんとハートフルランチ食材購入負担金	南砺市にちなんだ「7月10日・なんとの日」に合わせて、南砺の地場産物を使った学校給食「なんとハートフルランチ」を提供 	719

ア 計画の体系

基本目標	1 豊かな心を育む学校教育の充実	担当課	教育総務課
基本施策	(4) 学校教育環境の整備		
主な取組	① ICTの活用 ② 学校図書館の充実 ③ 施設整備		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
小・中学校施設非構造部材耐震化率	100.0%	100.0%	1.00	
小・中学校トイレ洋式化率	73.3%	86.5%	0.84	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	

小規模校の教育上の課題を克服するため、学校同士をネットワーク回線で結び、ICT機器を活用した遠隔協働学習を行った。小学校では国語科と理科の2科目と外国語活動でも実施し、中学校では国語科、理科、英語科の3科目で実施した。遠隔協働学習の積み重ねにより、多様な考えに触れることによって考えが広まったり深まったりした。

平成27年度に着手した井波小学校大規模改修工事、平成28年度に着手した井波中学校長寿命化工事を継続して実施したとともに、平成29年度からは福光中部小学校の長寿命化工事にも着手した。

小中学校のトイレ様式化率は、平成28年度と比較して5ポイント増加した。大規模改修に合わせてトイレの整備も進めている。

エ 今後の取組と改善点

<p>ICT遠隔協働学習では、適切な年間計画を立案し、公開授業などを通じて遠隔協働学習の課題を整理する。ICT支援員との連携を深めながら教員のスキルアップを図り、遠隔協働学習が特別な授業ではなく、負担感なく普段の授業と同じように行えるよう日常化を進める。</p> <p>引き続き、学校施設の大規模改修、長寿命化を実施し、併せてエレベーターの設置やトイレの洋式化等のバリアフリー化を推進する。また、空調設備の設置に向け、実施設計に着手する。</p> <p>小・中学校施設非構造部材耐震化率は100%を達成したので、今後はICT機器整備推進のため、大型掲示装置（電子黒板）設置率の向上を目指す。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
ICT遠隔協働学習事業（上平小、利賀小、井口小、平中、利賀中、井口中）	遠隔授業システム機器リース（3/5年目） ICT実証事業 検証委託 ICTサポート 業務委託 	13,619
小学校図書館図書整備事業	学校図書館図書購入 2, 6 1 7 冊	4,722
中学校図書館図書整備事業	学校図書館図書購入 2, 2 5 3 冊	4,223
井波小学校大規模改修（第3期）工事	【工事概要】 スロープ棟・特別教室棟 大規模改造 一式	367,511
井波小学校大規模改修（第4期）工事实施 設計業務委託	【設計概要】 特別教室棟、調理場、大規模改造 一式	15,120
福光中部小学校長寿命化改修（第1期）工事	【工事概要】 普通教室棟 長寿命化改修 一式	441,612
福光中部小学校長寿命化改修（第2期）工事实施 設計業務委託	【設計概要】 管理・特別教室棟 長寿命化改修 一式	16,805
井波中学校長寿命化改修（第2期）工事	【工事概要】 管理・普通教室棟 長寿命化改修 一式	641,478
井波中学校長寿命化改修（第3期）工事实施 設計業務委託	【設計概要】 特別教室棟、調理場 長寿命化改修 一式	15,498

ア 計画の体系

基本目標	2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(1) 生涯学習活動の推進		
主な取組	① 講座・講演会の開設・開催 ② 図書館サービスの充実		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
学習活動を行っている市民の割合	25.1%	30.0%	0.84	
各種講座参加者数	9,013 人	12,000 人	0.75	
年間図書貸出冊数	7.0 冊／人	7.4 冊／人	0.95	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	

市民大学講座の「ふるさとを巡る」「ふるさと見聞シリーズ」などの実際に現地を訪れ、歴史や県内のものづくりについて学ぶ講座は、定員を大幅に上回る申込があり、市民の関心が高い講座となった。様々な分野のテーマを年間20回開催する「緑の里講座」とともに好評で継続受講者が多いが、各種講座参加者数は、昨年度に比べ105人減少しているため、新規受講者の増加を目指し、より充実した講座内容にしていきたい。

放課後子ども教室・土曜学習推進事業では、市内11か所において地域住民と連携し、平日の放課後や週末に学校の体育館、グラウンド、公民館、自然等を活用し、文化・スポーツ・学習活動等を行い、延べ3,600人以上の参加があった。また、平成29年度から中学3年生を対象に学習支援事業を実施。大学生が学習支援員となり、延べ116名が参加して、高校受験に向けステップアップが図られる取り組みとなった。

市民のニーズに対応した図書館づくりのため、図書等のリクエストの随時受付、県内外他図書館との相互貸借制度の利用、中央図書館では7・8月の月曜開館等を行った。また福野図書館の絵本ライブは好評で、前年度比1.6倍の243名の参加があった。

エ 今後の取組と改善点

<p>市民大学講演会、市民大学講座、緑の里講座については、アンケート調査の結果等も参考に若年層にも支持してもらえるように企画の見直しや、これまで講座を受講したことのない市民に向けての告知・PRの強化を行い、新規の参加者が増えるよう努める。</p> <p>子供体験活動は、子供たちが興味を持つ新しい教室の企画に取り組む必要がある。また親子での参加者が多くみられるため、一緒に体験できる活動の導入について検討する。</p> <p>年間図書貸出冊数の目標値を達成するよう、今後も広報活動、館内展示の工夫、利用者のニーズに対応した資料整備等を行い、利用者数、図書貸出冊数の増加に努める。</p> <p>また中高生の利用者増に向け、南砺福光高校との連携をさらに推し進めたい。</p>
--

オ 主な事業

事業名		事業費 千円
市民大学講座の開設	<p>高い専門的知識を持つ講師による講座や技能の向上を目的とする講座を開設</p> <p>自主的・自発的な「学び」の場として学遊塾を開設</p> <p>南砺市民大学講座 11講座 申込者376人</p> <p>なんと市民学遊塾 9講座 申込者75人</p> 	2,104
市民大学講演会の開催	<p>さまざまな分野の著名な講師を招き、文化教養講演会を開催</p> <p>市民大学講演会 1回</p> <p>演題 「転んだら、どう起きる？」</p> <p>講師：宇梶 剛士 氏</p> 	1,340
高齢者大学の開設	<p>高齢者が自らの生活に生きがいを見出だすため、教養・趣味・技術等を楽しく学習できる機会の提供</p> <p>緑の里講座 20回開催</p> <p>地区高齢者学級 18学級</p> 	1,414
子供体験活動の開催	<p>たくましい体と心豊かな子供を育成することを目的にさまざまな体験活動を開催</p> <p>子ども伝統芸能塾「平、上平地域における伝統文化教室」</p> <p>申込者50人</p> <p>週末子ども文化塾「陶芸・ロボット工作・望遠鏡工作の週末文化教室」 申込者66人</p> <p>チャレンジ自然塾「スターウォッチング・乗馬体験教室の自然体験活動」 申込者113人</p> 	994

ア 計画の体系

基本目標	2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(2) 公民館活動への支援		
主な取組	① 公民館の自主的な活動の支援 ② 公民館職員の資質の向上		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
年間延利用人数	162,558 人	170,000 人	0.96	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	<p>公民館の年間延利用人数は、17,893人減少しており、特に女性団体の利用人数が各地区における婦人会の解散などの影響により昨年度と比べ7,307人減少した。</p> <p>公民館活動は、地区公民館活動交付金を利用して地区住民の学習要求を把握し、各館独自の特色ある学習内容の展開に努めている。</p> <p>昨年度に引き続き、「社会教育推進大会」において、全31公民館の活動パネル展示や大鋸屋公民館の実践活動の発表を行った。多くの方に各公民館の行事や活動について広く紹介し、知ってもらう機会を設けた。</p> <p>県の委託事業である「親子で高志の国探検事業」では、12公民館が実施し、身近な自然や歴史・文化を体験し学ぶことで、多くの参加者がふるさとへの愛着を深めた。</p> <p>市の公民館職員研修会を年3回実施し、他地区の公民館職員同士の情報交換や交流を深めるよい機会となった。また、砺波地区・県の公民館連合会が開催する研修会に参加することにより、公民館職員の資質の向上が図られた。</p>

エ 今後の取組と改善点

<p>公民館活動の紹介・PRを市の社会教育推進大会の場で行う機会を設けたことは一定の成果につながったと考えられる。今後も市民に公民館の役割や必要性をPRし、公民館の利用増に努める。</p> <p>公民館は地域を発展させる大切な拠点・交流の場であることから、地域住民の様々な要求や意欲を的確に把握し、その要望に応えられるよう、公民館連合会主催の研修会等を開催し、公民館職員のより一層の資質向上に努める。</p> <p>今後、小規模多機能自治への移行に伴い、研修会等を通じて公民館の在り方、方向性についての情報交換等を行いたい。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
<p>地区公民館活動の支援</p>	<p>地域の活動拠点となっている全 31 地区公民館に活動交付金を交付</p> <p>【交付金】 1 公民館当たり 50 万円を基本として、世帯数により加算交付</p>	<p>18,600</p>
<p>南砺市公民館連合会 研修事業の開催</p>	<p>自ら企画・立案・実施できる公民館職員の育成 公民館職員研修会 3 回 各種研修会、大会参加 9 回</p> <p>市公民館連合会研修会</p> <div data-bbox="587 846 1203 1361" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="580 1464 1203 1966" data-label="Image"> </div>	<p>159</p>

ア 計画の体系

基本目標	2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(3) 青少年健全育成活動への支援		
主な取組	① 地域に密着した活動の実施		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
街頭巡回指導回数（8支部計）	249回	180回	1.38	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	

青少年に対する街頭巡回指導回数は249回で昨年度に比べ8回減少しているが、現状を維持し目標値を上回っている。青少年育成南砺市民会議の8支部（城端・平・上平・利賀・井波・井口・福野・福光）に交付する補助金を利用し、それぞれの地域の特性を生かした活動を行っている。学校、PTA、地域の諸団体と連携し、地域イベントなどでの巡回指導、あいさつ運動、青少年育成講演会等、地域に密着した活動を実施した。

子育て講座事業では、市内幼稚園・保育園・小学校・中学校の24か所で35講座を開催し、2,600人を超える参加者が家庭教育における子育ての課題や悩みの解消について学習した。子育てについて話したり聞けたりできてよかった、自分を振り返る良い機会になった、自分と同じ気持ちの人がいて安心したとの声があった。

エ 今後の取組と改善点

<p>今後もアンケート等を参考にしながら、家庭の教育力の向上を図るとともに、少子化等の問題に対処するために、すべての親やこれからの親となる若い世代に対するきめ細やかな家庭教育支援の取り組みを推進する。また、青少年育成については、子供たちがたくましく成長していくことを願い、引き続き各支部との連携を強化し、取り組みに対する事業補助など、更に地元と密着した活動の支援を行う。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
<p>青少年育成市民会議への支援</p>	<p>各支部の青少年健全育成活動を支援するため補助金を交付（8支部） 城端・平・上平・利賀・井波・井口・福野・福光</p>  <p>青少年育成南砺市民会議総会</p> <p>【主な活動内容】 城端支部 街頭巡回指導（曳山祭、むぎや祭） 夏休み子ども居場所づくり 平 支部 親子ふれあい活動 朝の挨拶運動（小学校・中学校・高校） 上平支部 子どもの育成活動（古代米稲刈り体験） 利賀支部 21世紀を担う利賀青少年の集い 井波支部 青少年育成講演会 スマホ、ネット有害環境対策チラシ配布 井口支部 青少年健全育成に関する標語看板設置 福野支部 ふくの少年ハーティークラブ活動 「子ども110番の家」ウォークラリー 福光支部 体験学習ツアー 青少年善行表彰 あいさつ運動</p>	<p>850</p>
<p>子育て講座事業への支援</p>	<p>市内の幼稚園、保育園、小学校、中学校で開催される家庭教育学級や講座について、講師の謝礼経費を助成（1か所 15,000円を上限）</p> <p>子育て講座</p> 	<p>364</p>

ア 計画の体系

基本目標	2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(4) 生涯学習施設の整備・充実		
主な取組	① 改修・耐震工事の実施		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
耐震補強の必要な公民館数	0 館	0 館	1.00	全公民館 H28 で耐震 化完了

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	<p>主な生涯学習施設の改修工事として、福野文化創造センターの冷温水発生機更新工事、上平公民館の外壁等改修工事、東太美公民館の駐車場舗装工事、井波総合文化センターでは、平成 27 年度からの 3 年計画の第 3 期工事として、舞台機構改修工事を行った。</p> <p>所管する施設の老朽化した設備を修繕・更新することで、施設の利便性の向上と長寿命化を図った。</p>

エ 今後の取組と改善点

<p>駐車場舗装打換工事の必要な地区公民館数は 20 館あり、平成 30 年度は、公民館の周辺環境整備として、南蟹谷公民館、北山田公民館の駐車場舗装打換工事を行う。今後は、経年劣化している地区公民館駐車場の舗装打換工事を、毎年 2 館ずつ計画的に実施する。</p> <p>また、生涯学習施設の主な改修工事として、井波総合文化センターでは、照明設備等更新工事、自動火災報知設備等更新工事を行い、施設機能の充実を図る。城端伝統芸能会館では、舞台音響設備の機能向上に係わる舞台音響設備改修工事を行う。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
福野文化創造センター 冷温水発生機更新工事	<p>【工事概要】冷温水発生機更新 1 台、 冷却水系統の弁の更新 1 式</p> 	45,034
上平公民館外壁等改修 工事	<p>【工事概要】外壁改修 1 式、屋上防水改修 1 式、 屋根板金改修 1 式 等</p>  	25,704
東太美公民館駐車場舗 装工事	<p>【工事概要】舗装打換 A = 6 3 5 m²</p> 	2,894
井波総合文化センター 舞台吊物機構改修工事 (第 3 期)	<p>【工事概要】舞台機構改修 1 式 (メモリアホール 諸幕交換及び手動吊物用部品更新)</p>  	13,878

ア 計画の体系

基本目標	3 健やかな心と体を育む 生涯スポーツの推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(1) 各種スポーツ大会・教室の開催		
主な取組	① 市民スポーツの振興 ② 競技会の開催 ③ 指導者のレベル向上		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
総合型地域スポーツクラブ加入率	18.6%	20.0%	0.93	目標値を変更 (H29 年度総合 計画後期基 本計画改訂版 に基づく)

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	<p>運動が好きな子どもを育成し体力の向上を図るため、運動プログラム「なんと元気っ子教室」を市内12の保育園で延べ42教室を開催した。様々な運動遊びを通して、基本的な動きの獲得につながる遊び方を提示している。</p> <p>指標である総合型地域スポーツクラブ加入率は、県内の自治体に比べ高い水準ではあるものの、前年度と同率となっており、スポーツを通じて健康づくりや体力づくりを行うことの重要性を周知するとともに、スポーツクラブにおいて市民ニーズに応じた教室メニューを提供することにより、クラブ加入率の回復を図る必要がある。</p> <p>市民のスポーツ人口拡大を目指して開催した「チャレンジデーinなんと」は、参加率が52.5%で、自主的にスポーツに親しむ意識の喚起につながっており、市民の半数以上が参加する一大イベントとして定着している。しかし、参加率がほぼ横ばいで推移しており、誰もがもっと気軽に参加できる企画を検討する必要がある。また、競技スポーツに触れる機会を提供するため、市体育協会等と連携し、為末大陸上教室やSONPOボールゲームフェスタ等を開催し、大勢の市民の参加を得ることができた。</p> <p>総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が指導者講習会を延べ8回開催するなど、各体育団体で定期的にスポーツ指導者の研修会等を開催した。</p>

エ 今後の取組と改善点

<p>なんと元気っ子教室を通じ、家庭においても運動遊びが自然と子どもたちの日々の生活の中に取り込まれるきっかけとなるよう取り組みを行う。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催機運創出も踏まえ、スポーツイベントや教室、各種競技大会に、より多くの市民の参加・観戦につながるよう積極的に広報活動を行う。</p> <p>スポーツ指導者やスポーツ推進委員等のスキルアップを目指し、講習会等を開催する。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
なんと元気っ子教室の開催	<p>市内幼稚園・保育園に総合型地域スポーツクラブの指導者を派遣し、運動教室を開催。</p> <p>12園で延べ42教室</p> 	192
「チャレンジデー in なんと」の開催	<p>スポーツ人口の拡大と運動に対する意識の喚起</p> <p>参加者数27,501人</p> <p>参加率52.5%</p> 	700
「スポレクデー in なんと」の開催	<p>誰もが気軽に取り組める運動機会や健康づくりを提供</p> <p>市内4箇所で開催</p> <p>参加者数 1,260人</p> 	300
全国大会等開催補助 「JOCジュニアオリンピックカップ大会」	<p>ジュニア層を対象としたスポーツライミング競技大会への補助</p> <p>出場選手 207人</p> <p>(参加資格11歳～19歳まで)</p> 	1,600
為末大陸上教室の開催	<p>ジュニアの競技力向上を目指し、一流アスリートからの指導を受ける機会を提供</p> <p>参加者数 150人</p> 	953
市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会活動支援	<p>指導者育成事業等への補助</p> <p>指導者講習会 延べ8回</p> 	300

ア 計画の体系

基本目標	3 健やかな心と体を育む 生涯スポーツの推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(2) スポーツ活動への支援		
主な取組	① 少年のスポーツ活動の支援 ② 地域スポーツ活動への指導・助言 ③ 全国大会等参加選手への支援		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
スポーツを行っている市民の割合	40.0%	50.0%	0.80	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
B	B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。
	C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
<p>市体育協会の補助金交付を通じて、各競技の競技力向上と少年スポーツの活動支援に努めている。スポーツ少年団の加入者は871人を数え、うち小学生は775人で加入率は33.5%となっており、県内でも上位に位置し活動も熱心に行われている。主な指標の数値が昨年の39.5%から本年40.0%と0.5ポイント改善しているが、目標値との開きが大きいため、引き続きスポーツを行っている市民の割合を増やす取り組みの強化が必要である。</p> <p>スポーツ推進委員は地域・地区におけるスポーツの指導や助言を行い、市のスポーツ振興に寄与している。特に、委員が各種研修会で習得したことを地域のスポーツイベントや広報等を通じて、市民に指導・紹介する還元的な活動に努めている。</p> <p>法人格を有さない総合型地域スポーツクラブに対しては、自立した運営ができるように支援を行い、当該地域のスポーツ拠点としての役割を担っている。</p> <p>全国及び北信越等の大会に出場する個人または団体に対して激励金を交付し、助成を通して競技力の向上につながるよう支援している。</p>	

エ 今後の取組と改善点

<p>今後も市体育協会、各競技団体と協力し、競技力向上に努める。</p> <p>健康・医療部局とも連携し、イベントや講習会などを通じて、健康づくりに運動がもたらす効果・効用を周知するとともに、スポーツを始めるきっかけづくりに努め、スポーツを行う市民の増加に繋げる。</p> <p>スポーツ推進委員には、市民とスポーツをつなぐ役割を果たすことができるよう研修の機会を提供するとともに、研修の成果を積極的に市民に還元する機会を設けていく。</p> <p>旧村部のスポーツクラブは、地域住民が少なく自立的な運営が難しいため、今後も財政支援や他の団体との連携が重要である。</p> <p>スポーツ大会の種目や競技内容が多様化しており、それに合致した激励金交付の詳細な基準づくりの検討が必要である。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
市体育協会活動支援	協会事務局・各競技協会への補助 スポーツ少年団の育成、競技力の向上 地域スポーツ振興への補助 	39,500
市スポーツ推進委員協議会活動支援	スポーツ推進委員 75 人への報酬・各種研修会負担金等 	2,595
総合型地域スポーツクラブ（旧村）活動支援	子どもから高齢者までを対象としたスポーツ教室及びイベント等への補助 	5,566
全国大会及び北信越大会等出場者支援	全国大会及び北信越大会等出場者へ激励金支給 団体・個人 433件 	3,450

ア 計画の体系

基本目標	3 健やかな心と体を育む 生涯スポーツの推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(3) 体育施設の効率的な管理・運営体制の確立		
主な取組	① 指定管理者による適切な管理		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
年度内スポーツ施設利用延べ人数	58 万人	54 万人	1.07	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	<p>指定管理者制度の導入により管理運営を行っている社会体育施設は、体育館 17、屋内グラウンド 2、グラウンド 2、野球場 2、プール 2、テニスコート 4、ゲートボール場 2、その他施設 4 の合計 35 施設である。</p> <p>福野・福光・井波・城端の主要な体育施設は、各地域のスポーツクラブが指定管理者となり管理運営を行っている。クラブでは地域と密着したスポーツ活動や各種スポーツ教室等を独自開催するなど、クラブ会員増加につながるよう、魅力ある事業の企画実施に努めている。また、市事業の一端を担うソフト事業も実施しており、施設の利用促進とともに生涯スポーツの推進についても寄与し、施設利用者の増加につながっている。</p> <p>更に、学校体育施設の開放も併せ実施することで市民の運動増進の機会提供を図っている。市民のニーズに応じて、社会体育施設と併せて利用できる環境を整えるため学校及び指定管理者との協議・調整を行っている。</p>

エ 今後の取組と改善点

<p>各施設の適正な維持管理の遂行と計画的な修繕について指定管理者と協議し、実施していく。市民の意見アンケート等で把握された利用者ニーズに対応した管理運営が行えるよう指定管理者と協議・検討を重ねる。</p> <p>体育施設や附帯する設備機器の経年劣化に伴い、修繕案件が増えていることから、指定管理者に施設・設備の状況について確認を取り、計画的に修繕や更新を進めることが重要である。</p> <p>今後、主要体育施設の利用条件の見直しを含め、住民サービスの向上につながる施策を検討する。また、体育施設の管理に係る委託業務の共同発注など、指定管理者であるスポーツクラブの経営基盤の安定化に向けた取り組みについても検討を進める。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
体育施設指定管理委託 （体育館、テニスコート、プール、グラウンド、クレール射撃場、その他）	指定管理者による施設の維持・管理・運営	
	NPO法人ふくのスポーツクラブ 1 1 施設 （福野体育館、旅川体育館等）	46,640
	NPO法人福光スポーツクラブ 3 施設 （福光体育館、福光西部体育館等）	24,823
	NPO法人アイウェーブ 4 施設 （井波社会体育館、東洋紡野球場等）	22,789
	NPO法人クラブ J o y 9 施設 （城南屋内グラウンド、城端西部体育館等）	34,219
	水口造園(株) 2 施設 （福光里山体育館、福光里山テニスコート）	4,650
	(株)井波木彫りの里 1 施設 （いなみ木彫りの里テニスコート）	2,400
	安達建設(株) 1 施設 （城端温水プール）	16,910
	医王アローザ(株) 3 施設 （福光屋内グラウンド、福光プール等）	74,000
庄川自動車(株) 1 施設 （クレール射撃場）	0 (指定管理料なし)	
	合計 3 5 施設	
学校体育施設の開放事業	小学校開放 9 校 開放回数 2, 2 6 7 回 中学校開放 6 校 開放回数 2, 0 3 0 回	予算計上なし

ア 計画の体系

基本目標	3 健やかな心と体を育む 生涯スポーツの推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(4) 社会体育施設の整備・充実		
主な取組	① 改修・耐震工事の実施		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
耐震補強の必要な体育館数 (全体育館数 17 館の内残り 5 館)	5 施設	5 施設	1.00	対策を必要とする体育館残数が目標値

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	<p>市内社会体育施設で築 20 年以上経過した建物は、指定管理者からの報告や現状確認により、計画的な改修に努めている。また、自然災害等により緊急に修繕が必要となったものは、補正予算で修繕を行っている。</p> <p>平成 29 年度においては、経年劣化により運転に支障が出ている城端温水プール真空給水ポンプユニットの取替工事、福光プール熱源用加圧給水ポンプユニットの取替工事を行った。福光体育館では、ルール改正に対応できるよう、ビームライフルの的装置を購入したほか、城南スタジアムにおいては経年劣化したスポーツトラクタを更新した。</p> <p>計画していた社会体育施設における整備事業は概ね順調に実施できたが、施設の老朽化により緊急対応が必要な修繕案件が増えている。</p>

エ 今後の取組と改善点

<p>建物や設備の老朽化が進んでいる社会体育施設については、利用者の安全・安心の確保、利便性の向上のため、計画的に必要な改修・修繕を行う。</p> <p>平成 30 年度では、福光プールの外壁等の補修工事や城端温水プールのろ過タンク取替工事、福光総合グラウンドの補修工事等を実施する。</p> <p>来年度以降、多額の予算を必要とする体育館施設の耐震補強や改修工事については、計画的に予算を確保し、残りの 5 施設について順次整備を進めていく。</p> <p>福光体育館の耐震補強・大規模改修工事の設計を平成 31 年度に予定しており、計画的に実施できるよう準備を進める。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
<p>福光プール熱源用加圧 給水ポンプユニット取 替工事</p>	<p>【工事概要】 機器取替工事 1式 配管工事 1式 電気配線工事 1式</p> 	<p>4,104</p>
<p>城端温水プール真空給 水ポンプユニット取替 工事</p>	<p>【工事概要】 機器工事 1式 取替工事 1式</p> 	<p>3,208</p>
<p>福光体育館ビームライ フル装置購入</p>	<p>【備品概要】 ビームライフルターゲット装置 2台 ビームライフルディスプレイ装置 2台 ビームライフルプリンター装置 2台</p> 	<p>1,426</p>
<p>城南スタジアムスポー ツトラクタ購入</p>	<p>【備品概要】 スポーツトラクタ 1台</p> 	<p>2,474</p>

ア 計画の体系

基本目標	4 魅力ある芸術文化活動の振興	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(1) 「文化芸術振興プラン（基本計画）」の推進		
主な取組	① 文化芸術振興プラン（実施計画）の推進 ② TOGA国際芸術村構想の推進 ③ スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドの開催 ④ 南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ作品の維持管理		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
積極的に文化活動を行っている市民の割合	17.0%	17.0%	1.00	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	

「南砺市文化芸術振興基本計画」に引き続き「南砺市文化芸術振興実施計画」を策定し、富山大学と共同で町内会自治会に「獅子舞・行事調査」を行い、現状および今後の課題や意識について把握に努めるなど、計画的かつ効率的な文化行政を推進している。

TOGA国際芸術村構想では、アジアにおける舞台芸術の拠点としてのTOGAの地位確立を目指し、演劇創造活動のエリアである利賀芸術公園周辺の舞台芸術環境の機能強化を図っている。平成26年度から10年計画の4年目で、他部署や地域団体との官民連携のもと計画が進められている。

スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドでは、会期以外にも世界の音楽に親しむワークショップやコンサートを行い、異文化交流を通じた新たな芸術文化活動にも取り組んでいる。

4年に一度開催される南砺市いなみ国際木彫刻キャンプで制作された作品は、市内各施設や公園内等に設置され、芸術に親しむ空間となっている。過去の木彫刻作品を多くの方に親しんでいただけるよう、屋外展示によって傷みが進んだものは修繕及び防腐剤塗布を行い塗装保護に努めている。

エ 今後の取組と改善点

<p>「南砺市文化芸術振興実施計画」に基づいて事業を推進し、「再評価・交流・人材育成による新たな文化芸術創造と地域コミュニティの振興」を目指す。</p> <p>世界に発信する利賀舞台芸術・スキヤキ・木彫刻キャンプ等の芸術活動が、文化芸術創造都市としての評価を受け、市民へも浸透し、産業振興・地域活性化に繋がっていることを実感できるよう、今後とも支援していく必要がある。</p>
--

ア 計画の体系

基本目標	4 魅力ある芸術文化活動の振興	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(2) 芸術文化活動への支援		
主な取組	① 美術活動の推進 ② 各地区の文化協会や団体支援		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
市美術展出品者数	301 人	400 人	0.75	
「アートで遊ぼう」の子ども参加者数	64 人	100 人	0.64	



ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
B	B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。
	C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
<p>南砺市美術展は 27 年度以降において 1 館開催を実施しており、おおむね好評を得ている。29 年度出品数については高校生作品が若干増加したものの全体数はほぼ横ばいである。市内小学生を対象とした「アートで遊ぼう」事業は、募集定員の 60 人を上回る参加者があり好評である。また、ちぎり絵入賞者作品を五箇山和紙の里で開催された「全国ちぎり絵展」において展示した。</p> <p>各地区文化協会・団体等への芸術文化的支援は補助金交付等を行っており、平成 27 年度から繰越金過多の団体には減額の措置を講じて、補助金額の見直しを行っている。</p>	

エ 今後の取組と改善点

<p>市展においては、南砺市美術連合会との連携をより強化して事業に取り組む。また、出品資格の見直しにより出品者数の増加をはかるとともに、作品解説の日数を増やすなどして多くの人が気軽に文化芸術に親しむ機会を提供したい。</p> <p>アートで遊ぼう事業については、開催場所や指導者の増員について検討を行い、また新しい試みを取り入れながら、子ども達に創作の楽しさを教えることを継続する。</p> <p>また、団体活動については、文化協会等の活動の充実と自立性を促すよう各団体に働きかける。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円																
<p>「第 13 回 南砺市美術展」の開催</p>	<p>作品展示</p> <p>招待出品 96 点 委嘱出品 40 点 一般出品 164 点 (うち高校生 25 点)</p> 	<p>1,997</p>																
<p>第 6 回 「アートで遊ぼう」事業 「和紙アートコンク ール in なんと」の開催</p>	<p>ワークショップ参加者 (コース別)</p> <p>ちぎり絵 46 人 切り絵 8 人 にじみ絵 10 人</p> <p>参加者 (学年別)</p> <table border="0"> <tr> <td>園児</td> <td>1 人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1 年生</td> <td>11 人</td> <td>2 年生</td> <td>15 人</td> </tr> <tr> <td>3 年生</td> <td>17 人</td> <td>4 年生</td> <td>8 人</td> </tr> <tr> <td>5 年生</td> <td>7 人</td> <td>6 年生</td> <td>5 人</td> </tr> </table> 	園児	1 人			1 年生	11 人	2 年生	15 人	3 年生	17 人	4 年生	8 人	5 年生	7 人	6 年生	5 人	<p>342</p>
園児	1 人																	
1 年生	11 人	2 年生	15 人															
3 年生	17 人	4 年生	8 人															
5 年生	7 人	6 年生	5 人															
<p>文化協会等活動</p>	<p>市内文化協会等活動支援</p> <table border="0"> <tr> <td>城端</td> <td>135 千円</td> <td>平</td> <td>1,286 千円</td> </tr> <tr> <td>利賀</td> <td>399 千円</td> <td>井波</td> <td>799 千円</td> </tr> <tr> <td>福野</td> <td>908 千円</td> <td>福光</td> <td>1,031 千円</td> </tr> </table>	城端	135 千円	平	1,286 千円	利賀	399 千円	井波	799 千円	福野	908 千円	福光	1,031 千円	<p>4,558</p>				
城端	135 千円	平	1,286 千円															
利賀	399 千円	井波	799 千円															
福野	908 千円	福光	1,031 千円															

ア 計画の体系

基本目標	4 魅力ある芸術文化活動の振興	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(3) 文化ホール・美術館などの事業の充実		
主な取組	① 美術の魅力と鑑賞の機会 ② 芸術文化活動の促進		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
文化ホール等利用者数	99,945 人	125,000 人	0.80	
美術館入館者数	21,486 人	21,000 人	1.02	



ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	<p>福光美術館では、Art Quilt 展をはじめ、なんとこの至宝展など全 6 企画展を開催した。また常設展示室は 4 回の展示替えを行い、コレクション室は 3 回の展示替えと市民団体の展覧会にも利用された。企画展の多くは好評を得ており全体の入館者数は前年度に比べ 1 千人近く増加した。しかし今冬は雪が多かったこともあり、冬場の企画展の来館者が思うように伸びなかった。</p> <p>井波総合文化センターおよび福野文化創造センターに城端伝統文化会館を加えた 3 館の文化ホール自主事業については、実施日が重ならないよう毎年事前に調整を行っている。貸館業務は指定管理者が使用料の割引など、様々な策を講じて、利用者を減らさないよう努力をしている。</p>

エ 今後の取組と改善点

<p>福光美術館の企画展は県外からの来館者が多く、広告を有効に使って広報することが不可欠である。また、自動車以外の来館者が便利に利用出来るよう検討が必要である。</p> <p>棟方志功記念館では入館者が漸減している。30 年度に南砺市で開催される棟方志功サミットを契機に、入館者の増加を図りたい。</p> <p>各文化ホールや井波美術館が主催する自主事業・企画展については、各施設の特徴を活かした事業を展開し、入場者の増加を図るよう促していきたい。貸館の利用団体は、利用者の固定化が顕著なため、新規利用者の開拓に努めていく必要がある。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
福光美術館企画展	美を綴る Art Quilt2017、 なんとの至宝展 Part6 デルゲ印経院チベット木 版仏画展、不二の美を観 た人 美の法門 柳宗悦 展、第 13 回南砺市美術 展、第 16 回なんと版画年 賀状公募展、こころを織る KIMONO 山下郁子展 	14,922
棟方志功記念館 企画展	入館者 5,098人 春風頌展、爽暑頌展、 秋涼頌展、雪嶺頌展、 花恋頌展 	6,242
井波美術館運営	企画展と維持管理 入館者 11,617 人 4～7 月 井波の美術作家展 (旧同人展) 7 月 東京につどう愉快的仲間達のハンドキ ト展 in 井波 7～9 月 井波の美術作家展 8 月 つくろう! 石ころアート 9 月 井波美術協会展 美術館コンサート 井波美術の軌跡・展 (井波美術館開館 30 周年記念、美術協会結成 75 周年記念) 9～10 月 まちなみアート in いなみ 2017 11～12 月 井波の美術作家展 12 月 瑞穂書会色紙展 井波の美術作家展 2 月 いなみ小中学生アート展	1,800

ア 計画の体系

基本目標	5 文化財の保存・活用と伝統文化の継承	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(1) 世界遺産マスタープランの推進		
主な取組	① 世界遺産の保存 ② 小中学校への啓発活動		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
コガヤ年間生産量	12,000 束	15,000 束	0.80	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
B	B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。
	C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
<p>世界遺産の合掌造り集落において、合掌造り家屋の屋根葺替えや棚田の石積み修復などの保存整備事業を計画的に実施し、歴史的景観の適切な保全に努めた。</p> <p>国指定史跡である相倉・菅沼両集落にかかる史跡保存管理計画は平成 8 年に策定したものであるが、およそ四半世紀が経過し、様々な変化に対応すべく「史跡保存活用計画」として平成 31 年度末完成を目処に取組みを開始した。今年度は相倉集落の基礎調査と有識者を交えた策定委員会を実施している。</p> <p>平成 28 年策定の「五箇山景観計画」に基づく届出制度などにより、携帯電話基地局の新設や、建築行為等における景観への配慮などすこしづつ効果が現れている。</p> <p>小茅の自給率の向上を図るため南砺市茅場の造成事業補助金により、タカンボースキー場のゲレンデにおける茅場造成事業に支援を前年に引き続き行った。平成 30 年度まで毎年 2,000 m²程度の造成を計画的に進める。</p> <p>啓発活動では、上平小学校 6 年生を対象に課の職員が講義を実施し、世界遺産をテーマとしたフィールドワークのサポートを行った。</p>	

エ 今後の取組と改善点

<p>国史跡である相倉・菅沼集落の保存活用に万全を期するため、現行の史跡保存管理計画の見直しを行い、史跡の保存と住民の生活が調和する、今日に即した保存活用、整備の基本方針となる保存活用計画の策定に引き続き取組む。</p> <p>世界遺産の緩衝地帯の景観づくりを着実に推進するため、五箇山景観計画が定める「眺望点」「五箇山景観資産」の指定による積極的な周知に努める。</p> <p>計画的な茅場の造成事業に取り組み、小茅の増産・自給率向上を図るとともに、今後必要となる新たな茅保管場所の確保について検討を進める。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業	<p>国指定史跡相倉・菅沼集落にある建造物等の修理・整備を行い、歴史的景観の保全を図るとともに、修理現場の公開など市民が歴史や伝統文化に親しむ場として活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相倉集落 茅葺替えほか2棟 菅沼集落 葺替え1棟 	22,368
指定文化財管理事業	<p>国指定文化財の所有者が行う管理上特に必要のある措置（棟直し、雪下ろし、消防設備点検等）に要する経費に対して補助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要文化財4棟 岩瀬家、村上家 羽馬家、白山宮本殿 史跡相倉・菅沼集落 	13,514
国指定史跡越中五箇山相倉集落・越中五箇山菅沼集落史跡保存活用計画策定事業	<p>両集落にかかる史跡保存活用計画を平成31年度末完成目処に策定を行う。前回策定から四半世紀を経過、様々な変化を踏まえた内容に刷新する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相倉集落基礎調査 史跡保存活用計画策定委員会 	4,088
電源立地地域対策交付金事業	<p>市有合掌造り家屋の屋根葺替えや、相倉・菅沼両集落に関する便民施設等の整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 葺替え工事 2棟 合掌の里水上家 合掌の里陶芸の家 	11,610
南砺市茅場造成事業	<p>小茅の自給率向上を目的に、タカンボースキー場のゲレンデを活用し、茅場の造成に取り組んだ。</p> <p>造成面積 2,000 m²</p> 	3,760
五箇山合掌造り家屋保護事業	<p>五箇山地域に在る国・県指定文化財以外の茅葺き建築物の葺替えや屋根雪下ろしに要する経費に対して補助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋根雪下ろし 9棟 	250

ア 計画の体系

基本目標	5 文化財の保存・活用と伝統文化の継承	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(2) 文化財収蔵・展示施設の機能充実		
主な取組	① 重要無形民俗文化財「城端曳山祭」の支援 ② 埋蔵文化財の活用と調査・整理室機能 ③ 民俗文化財保管・展示		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
改修済みの文化財収蔵施設数	3	4	0.75	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
B	B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。
	C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
<p>国重要無形民俗文化財の保存継承のため、城端曳山祭保存会では、外部講師を招いて、庵唄や囃子方の技能研鑽を継続的に実施している。また、城端曳山連合会では、曳山巡行を滞りなく行うための順路の調整や曳き手人員の確保に努めている。</p> <p>平成 29 年度には城端曳山祭と同時に全国山・鉦・屋台保存連合会総会が開催された。ユネスコ無形文化遺産登録後初の総会開催であることから、通常総会に加えユネスコ無形文化遺産登録認定証の伝達式も行われ、全国 33 の対象団体が喜びに沸いた。総会、本祭とも盛況の内に無事に終了した。</p> <p>埋蔵文化財センターでは、資料の展示に加えて歴史体験教室を開催した。平成 29 年度は高瀬遺跡菖蒲まつりでの教室開催や、市内小中学校の校外学習受け入れ等を行った。また、南砺市出土遺物の土器パズル作成を行い、展示資料と体験教室教材が充実した。</p>	

エ 今後の取組と改善点

<p>ユネスコ無形文化遺産に登録以降、注目度が高まる城端曳山祭について、遺産の価値を高めるためにも、保存・継承に努めながら活用を図る。</p> <p>埋蔵文化財センターは、小中学生にもわかりやすい展示、体験教室の充実を図る。ふるさと学習や歴史体験の拠点施設としても活用し、小中学生や市民に地域の歴史に理解を深めてもらい、郷土愛を醸成させる。</p> <p>民俗文化財の保管・展示場所を確保する。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
城端曳山祭保存活動支援	城端曳山連合会及び城端曳山祭保存会活動補助金 	717
全国山・鉾・屋台保存連合会総会「南砺市城端大会」実行委員会支援事業	大会開催事業補助金 	960
埋蔵文化財活用事業	南砺市出土遺物土器パズル作成 	1,697

ア 計画の体系

基本目標	5 文化財の保存・活用と伝統文化の継承	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(3) 文化・歴史遺産の保存と活用		
主な取組	① 文化財の保存と活用 ② 伝統芸能保存団体の育成 ③ 民俗文化財の調査		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
埋蔵文化財センター入館者数	1,152 人	2,000 人	0.58	目標値を変更（H28年度総合計画）
国登録有形文化財件数	8 件	10 件	0.80	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
B	B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。
	C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。

市指定文化財「立野原監的壕」のうち城端丸山監的壕について、ひび割れ等の躯体劣化部を補修する工事を実施した。また、「白山宮鞘堂」（平地域）について、国登録有形文化財への登録申請を行い、答申を受けた。

伝統文化保存団体の活動を支援するため、補助金を交付し継承と後継者の育成に努めている。庵唄については、平成 27 年度より城端だけでなく福光や福野の団体にも視野を広げ、講師を招いた実践指導により技能向上を図った伝承保存活動も行っている。獅子舞等の保存団体については、少子高齢化の進行により、後継者の確保が深刻な問題となっている。このため、伝統的に男子だけで行われてきた行事に、女子の参加により後継者を確保する団体が増えてきた。利賀初午行事は将来の存続が危ぶまれる状態にある。

民俗文化財は、現在所蔵している資料を調査・整理し、台帳を整備する。

エ 今後の取組と改善点

<p>伝統文化保存団体の活動を支援するため、継続して補助を行う。獅子舞等の伝統文化は、基本的に地域が独自に継承していくべきものではあるが、後継者の育成等に、市として協力できる部分があれば支援していく。市内庵唄の保存継承について継続して補助を行う。</p> <p>国登録候補の建造物について引き続き調査を進め、今後数年間は年 2 件程度（民間希望を優先）のペースで登録申請を行う。登録を受けた建造物はできるだけ活用を図りながら保存に努める。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
指定文化財保存修理事業	市指定文化財 城端丸山監的塚 保存修理工事 	3,305
庵唄伝承保存活動 支援	庵唄伝承保存活動協議会 活動補助 	1,000
伝統文化保存団体 活動支援	指定文化財等の伝統文化 保存団体への補助（5 団体） 越中五箇山民謡保存会 五箇山深山会 城端千代音加礼保存会 福光ちょんがれ保存会 荒木ねつおくり祭り 保存会 	333
国登録文化財制度 の活用	新規登録申請文化財 1 件 白山宮鞆堂（平地域） 	予算計上なし

ア 計画の体系

基本目標	6 子どもが健やかに育つ子育て環境の充実	担当課	こども課
基本施策	(1) 幼児教育・保育サービスの充実及び支援		
主な取組み	① 幼児教育・保育の機会拡大と内容の充実 ② 職員の人材確保と研修の充実 ③ 読み聞かせの充実 ④ 食育の推進 ⑤ 避難訓練・防犯対策等の実施 ⑥ 保育環境の向上 ⑦ 私立の教育・保育施設への支援 ⑧ 幼・保・小の連携		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
就労しながら無理なく子育てできると感じる市民の割合	62.1%	70%	0.89	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
A	B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。
	C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
<p>指標の割合は、前年度よりわずかに下がっているものの、各取組は着実に推進できており、達成度も約 9 割で A 評価としている。</p> <p>保育園・認定こども園等における低年齢児の入園が増えており、幼児教育・保育の受け入れ枠（量）を確保し、待機児童ゼロを維持した。延長・病後児保育や土曜・休日保育などの各種保育サービスを行い、多様な保育ニーズに応えた。</p> <p>保育士・看護師等の人材を確保するため、保育士の嘱託制（月給制）の導入や賃金アップによる処遇改善を図るとともに、保育士等の研修会への参加や園内研修等の充実に努め、職員の資質の向上に努めた。</p> <p>私立認定こども園・保育園等への施設型給付等の運営費の財政的支援を行い、職員の処遇改善、安定的な園の運営、保育の質の向上への支援に努めた。</p>	

エ 今後の取組と改善点

<p>多様な保育ニーズに応えられる態勢を各園で整えるとともに、地域における今後の保育ニーズ等を見極め、就労しながら子育てができる環境づくりに努める必要がある。</p> <p>保護者ニーズが高い病児保育は、関係部署等と連携し、前向きに検討していく。</p> <p>保育園において、各種の運営マニュアルを整備しているが、新採・若手職員等も多くなってきており、改めて研修等を通じて職員への周知徹底を図っていく。</p> <p>市内私立保育園・認定こども園は、地域の教育・保育施設として重要な役割を担っている施設であり、今後も公立保育園とお互いの住み分けをしっかりと行い、質・量ともに充実した幼児教育・保育の提供に努めていく。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
施設型給付等の支給	私立認定こども園や保育園等に対して運営費の給付等を行い、質の高いサービスの提供を支援	255,481
地域子ども・子育て支援事業	子ども・子育て支援事業計画に従って実施する事業 一時預かり事業 延長保育事業 病児保育事業（病後児、体調不良児対応）	45,722
保育士・看護師等の確保	安全で安心して預けられる質の高い保育を実施するため、保育士・看護師等の人材を確保	444,151
保育士研修	保育の質の向上のための研修等の実施	687
施設・設備の工事・修繕 備品の購入	<p>工事請負費 3,714千円</p>  <p>保育園施設・設備の修繕料 3,385千円 保育備品の購入 946千円</p>	8,045
幼・保・小の連携	各小学校において、幼・保・小連絡会を開催し、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携を進めるため、情報交換を実施	予算計上なし

ア 計画の体系

基本目標	6 子どもが健やかに育つ子育て環境の充実	担当課	こども課
基本施策	(2) 児童の居場所づくりの推進		
主な取組み	① 子どもの健全な育成と地域の教育力の充実		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
放課後児童クラブ実施数	9 か所	10 か所	0.90	
地域主体の学童保育実施数 (とやまっ子さんさん広場)	5 か所	6 か所	0.83	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	<p>就労等により留守となる家庭の児童を預かり、保護者の代わりに適切な遊び及び生活の場を与える放課後児童クラブは、開設時間延長制度を導入し子育て支援の充実を図った。県主催の放課後児童支援員研修を計画的に受講し、支援員資格取得者の増に努めた。発達障害に関する研修会などへの参加も呼びかけ、特別な配慮を要する子どもに対し適切な対応ができるようスキルの向上にも努めた。</p> <p>地域主体で運営されている学童保育のとやまっ子さんさん広場へ財政支援を行い、運営の継続に努めた。</p> <p>平成 7 年に建築された福野児童センター「アルカス」の老朽化に伴う空調設備更新工事、屋根等改修工事、排煙窓設備修繕工事を行い、児童が安心して活動できる環境整備を図った。</p> <p>各児童館・放課後児童クラブ指導員会を月例で開催し、施設間の運用等の統一化を行っている。また、小学校との情報交換会を学期末毎に開催し、連携を密に運営することにつながった。</p>

エ 今後の取組と改善点

<p>指定管理者制度を導入している児童館について、適正な管理運営を実施するよう指導・監督を行っていく。</p> <p>福野児童センター「アルカス」内の児童の過密化や駐車場不足が課題となっており、平成 30 年度から併設する放課後児童クラブを分割し、福野 B & G 海洋センターへ移設することや駐車場増設を行うことにより児童の安全安心な居場所づくりに努める。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
児童館施設指定管理	児童館施設 4館	31,384
放課後児童クラブ事業	市直営 3クラブ 運營業務委託 6クラブ	38,449
福野児童センター「アルカス」改修工事	<p>【工事概要】 空調設備更新工事</p>  <p>屋根等改修工事</p>  <p>排煙窓設備修繕工事</p>	41,574
地域主体の学童保育 （とやまっ子さんさん 広場）	運営への補助（5団体） 北野子どもふれあい広場、寺子クラブ、 いのくち放課後クラブ、五箇山子ども広場、 福野南部なかよし広場	3,707
児童遊具整備事業	<p>児童の遊び場の確保のため、自治会等が児童遊具を新設、修繕する事業費の一部を補助</p> <p>修繕 2団体</p> 	100

ア 計画の体系

基本目標	7 子どもへの喜びや生きがいを持つ子育て家庭への支援	担当課	こども課
基本施策	(1) 子育て支援サービスの充実		
主な取組み	① 子育てへの指導・助言 ② 子育て支援機能の強化・充実 ③ 子育て家庭への経済的支援の充実		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
ファミリー・サポート・センター事業の利用数	依頼件数 261件 活動回数 514回	依頼件数 300件 活動回数 560回	0.87 0.92	
子育てに喜びや生きがいを感じている保護者の割合	89.9%	95.0%	0.95	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	<p>ファミリー・サポート・センター事業の利用数が減少しているが、放課後児童クラブ延長制度を設け支援を充実させたことによるものである。また、子育てに喜びや生きがいを感じている保護者の割合もわずかに減少しているものの、達成度が 9 割を超えているため A 評価としている。</p> <p>世代間で相互に助け合い、安心して暮らせる家庭環境づくりをより推進するため、出生祝い金や保育料の軽減にかかる三世帯同居の要件について、同一敷地別棟も可とする拡充を行った。</p> <p>こども医療費助成制度の現物給付の範囲を呉西 6 市に拡大し利便性の向上を図り、子育て家庭への経済的支援の効果を高めた。</p> <p>保育園等において、保育料などの第 3 子以降の無料化、多子世帯軽減、三世帯同居世帯軽減、また、移住定住者世帯に係る無料化も行った。</p> <p>子育て支援センター 2 か所を土・日曜日に関き（子育て交流サロン）、子育てに関する育児不安・悩み相談や情報交換等ができる場所を提供した。また、チラシ配布やホームページ等で PR に努めた。</p>

エ 今後の取組と改善点

<p>引き続きファミリー・サポート・センター協力会員の確保を図り、利用促進のため事業の周知に努める。</p> <p>こども医療費等助成制度において、県下一斉に福祉医療費請求書の電子化に取り組み、子育て家庭への支援に一層努めていく。</p> <p>子育て支援センターについては、利用者へのニーズ調査等を実施し、今後の配置について検討していく。子育て交流サロンについてのアンケート調査を実施して、利用者のニーズ等の把握を行う。また、イベントの開催等により、利用促進につなげる。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
子育て支援センター事業 子育て交流サロン事業	<p>家庭で子育てをしている保護者を支援するため、子育て親子に交流の場や子育て関連情報を提供するとともに、子育てに関する相談や講習等を実施</p>  <p>子育て支援センター 2 か所を土・日曜日に開所</p>	63,648
ファミリー・サポートセンター事業	会員による子育て家庭の育児の相互援助を実施	742
保育料軽減等による経済的支援（歳入影響額）	<p>第3子以降の保育料等無料化 多子世帯（同時入園）の保育料軽減 三世帯同居する世帯の保育料軽減 移住定住者世帯に係る保育料の無料化</p>	181,049
こども・妊産婦医療費助成事業 養育医療給付事業	<p>医療費（保険適用分）の自己負担額を助成</p> <p>こども医療（0歳～中学生）延べ 6,104人 妊産婦医療 延べ 127人 養育医療（未熟なまま産まれた乳児の、指定医療機関における必要な入院医療費） 13人</p>	134,781
出生祝い金支給	<p>お子さんの健やかな成長を願い出生祝い金を支給 290人 うち三世帯同居による加算 155人</p>	39,200
児童手当の給付	次代を担う児童の健やかな育ちを社会全体で応援するため支給される手当	670,905
南砺の三人っ子政策事業	<p>学生までの範囲で第3子以降の高校生を持つ保護者を対象とした経済的支援</p> <p>医療費（保険適用分）全額補助 24人 通学定期券の1/2補助 22人</p>	1,257
とやまっ子子育て応援券事業	<p>子育て家庭の経済的・精神的負担の軽減を図り、子育て支援サービス等の利用促進のため、サービス等の利用券を交付</p> <p>利用枚数 5,250枚 (利用率 63.6%)</p> 	2,625

ア 計画の体系

基本目標	7 子どもへの喜びや生きがいを持つ子育て家庭への支援	担当課	こども課
基本施策	(2) 児童・子育て家庭相談の充実		
主な取組み	① 特別支援教育などの充実（就学前相談・指導の充実） ② 要保護児童等への対策		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
女性・こども相談室等における相談人数（電話相談含む）	延べ 481 人	延べ 400 人	1.20	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	<p>女性・こども相談室には児童福祉、母子福祉等の専門性のある相談員（家庭児童相談員 2 人、母子・父子自立支援員 1 人、女性相談員 1 人）を配置している。1 件の相談内容に問題点が複数ある場合は、それぞれの視点で相談員の専門性を活かしながら連携を図り解決を目指した。</p> <p>幼児や小学校低学年の子どもの発達に気がかりがある保護者に対して、個別に保育園等での相談会や保健センターにおけることばに関する相談会、臨床心理士による発達に関する相談会を実施し、専門的な指導・助言を行った。</p> <p>市の児童虐待の対応機関として、学校や母子保健部署、その他関係機関との連携を図り、随時ケース会議を行うなど要保護児童対策の充実に取り組んだ。また、実務者会議においては、警察署も関係機関として新たに協議に参画してもらい、一層の情報共有化を図った。</p>

エ 今後の取組と改善点

<p>女性・こども相談室等の相談業務は、今後も来所相談のみならず、家庭児童相談員による保育園や児童館、必要に応じた家庭訪問など一層重点的に取り組む。</p> <p>子どもを支援する専門職（保育士や保健師、早期支援コーディネーターなど）やその他関係機関との速やかな情報共有、連携体制を強化することで、発達において支援が必要な児童への支援体制の充実に努める。</p> <p>要保護児童地域対策協議会の関係機関等との個別ケース検討を密に行い、対象児童・保護者に対して主となる相談対応者を決定し、関係機関で役割分担しながら援助方法を多角的・総合的に実施する体制を構築していく。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
相談支援事業	育児やこどもの発達、児童虐待など子育てに関する ことや、離婚や 配偶者等による 暴力などさまざま な問題や心配 事に応じるため、 相談員を配置 女性・こども相談室の相談人数 延べ481人 	6,722
こどもの発達相談会	発達に気がかりがある子どもを持つ保護者に対す る臨床心理士による個別相談会の開催 在園児が対象（主に年中・年長児） 12回	198
ことばの相談会	保育園や認定こども園、小学校在籍児童で、言語発 達上に気がかりがある保護者に対する言語聴覚士 による個別相談会の開催 6回	42
集団支援教室	発達に気がかりがある保育園等に在園している年 中・年長児の集団支援教室「カンガルーひろば」の 開催 9回	91
保育園巡回訪問	言語聴覚士が中心となって市内の全保育園、認定こ ども園を巡回し、発達に気がかりがある児童のアセ スメント、園での児童への支援について助言を行 う。年長児の訪問時は、教育総務課と早期支援教育 コーディネーターも同行している。 年2回（春季、秋季） 必要時随時対応	予算計上なし
保育園巡回個別訪問	言語聴覚士が園に出向き、子どもの発達に関する保 護者との個別相談を実施 18回	予算計上なし
要保護児童対策地域協議会	要保護児童の早期発見及び適切な保護又は要支援 児童もしくは特定妊婦への適切な支援を行うため 設置する組織 代表者会議 1回 実務者会議 6回 ケース会議32回 	69

ア 計画の体系

基本目標	7 子どもへの喜びや生きがいを持つ子育て家庭への支援	担当課	こども課
基本施策	(3) ひとり親家庭の自立支援		
主な取組み	① ひとり親家庭等への経済的支援の充実 ② 相談や情報提供機能の充実		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
児童扶養手当受給者に対する、ハローワーク等と連携した就労支援の達成率	57.1%	100%	0.57	


ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
B	B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。
	C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
	<p>小学校・中学校・高校へ進学する子どもを持つひとり親家庭の保護者に対する入学祝い金の支給や、高校生の通学定期券に対する補助を行い、子育てにかかる費用を支援し、経済的負担の軽減を図った。</p> <p>就職に結びつきやすい資格の取得を目指すひとり親等に対して、資格取得に必要な費用及び修了時の給付金を支給し、今後の生活の安定に向けた支援を行った。</p> <p>自立の促進を図るための教育訓練費用の助成を行い、能力開発の支援を行った。</p> <p>児童扶養手当現況確認時の出張ハローワーク実施をはじめ、年間を通して職業安定所との連携強化を図り、ひとり親の就労による自立につながるよう支援を行っている。なかなか就労の条件が合わない場合も多く指標の達成率に現れてこないが、根気よく支援している。</p> <p>ファミリー・サポート・センターひとり親家庭等利用支援事業を新たに実施し、ひとり親家庭等の子育ての負担軽減及び地域における育児に関する相互支援活動の推進に努めた。</p>

エ 今後の取組と改善点

<p>引き続き窓口での手続きの際の制度案内を徹底するほか、定期的な広報で制度の周知を行っていく。</p> <p>ファミリー・サポート・センターひとり親家庭等利用支援事業の助成限度額を廃止し、子育ての負担軽減のためファミリー・サポート・センター事業をより利用しやすいよう拡充を図る。</p> <p>就労しながら子育てができるよう雇用や勤務体系等に理解のある事業所を増やし、ひとり親の子育て環境の向上に努める。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
ひとり親世帯子育て 応援制度	【ひとり親家庭支援事業】 入学祝い金（小、中、高）の支給 87人 高校通学定期券の1/2補助 64人	5,155
ひとり親家庭医療費助 成制度	ひとり親家庭等に対し医療費（保険適用分）の自己 負担額を助成	19,841
児童扶養手当の給付	ひとり親家庭の生活の安定と児童の健やかな成長 を願って手当を支給	92,125
母子家庭等就業自立 支援事業	高等職業訓練促進給付金支給者 2人 修了支援給付金支給者 1人 自立支援教育訓練給付金支給者 1人	1,802
ファミリー・サポート・ センターひとり親家庭 等利用支援事業	ひとり親家庭等の子育ての負担軽減及び地域にお ける育児に関する相互支援活動の推進 	9

ア 計画の体系

基本目標	7 子どもへの喜びや生きがいを持つ子育て家庭への支援	担当課	こども課
基本施策	(4) 次世代の親の育成		
主な取組み	① 家庭での教育力の向上と次世代の親の育成		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	目標値(H31)	達成度	備考
交流事業の開催回数	12 回	12 回	1.00	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	
<p>保育園・認定こども園等で保護者などを対象に、子どもの成長段階に合わせた子育て教室・講座を開催して、親自らがその役割について学ぶ活動を行った。</p> <p>積極的に子育てを楽しみ、自らも成長する男性（イクメン）を増やすため、子育てに関する講座「パパ講座」を開催した。また、保健センターと連携して、妊娠・出産を控えた夫婦を対象として「もうすぐパパ講座」を開催した。</p> <p>子育て支援センター、保育園、児童館等で、乳幼児と中学生・高校生とのふれあい事業を行った。</p>	

エ 今後の取組と改善点

<p>交流事業開催回数は目標値に達しているが、次世代の親の育成のため、保育園・児童館等と連携し、中・高生のボランティア活動の受入や乳幼児とのふれあいの場を充実させる。</p> <p>保護者等の就業などにより、子どもと接する時間の減少で、家庭での教育力低下も見られる。幼児期から基本的な生活習慣や生活能力などを身につけるには、家庭の役割が重要であることから、家庭の教育力の向上を図る。今後は、育児休業や残業がない働き方等の子育てに理解のある市内企業の増加を図り、市全体で子育てしやすい職場環境づくりを推進していく。</p> <p>子どもの発達段階に合わせた子育て講座や保護者会等での講演会の開催、保護者懇談等での相談体制を充実させることにより、幼児期の家庭の教育力向上を図る。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
<p>子育て教室・講座 ふれあい教室</p>	<p>各種子育て教室・講座の開催 乳幼児と高校生とのふれあい教室の開催</p> 	<p>2,807</p>
<p>イクメン応援事業</p>	<p>積極的に子育てを楽しみ、自らも成長する男性（イクメン）を増やすため子育てに関する講座（パパ講座）を開催</p> 	<p>40</p>
<p>中・高生のボランティア活動の受入</p>	<p>砺波工業高校生によるおもちゃの病院 福光高校読み聞かせボランティア</p>  	<p>予算計上なし</p>

学識経験者の意見について

1. 点検評価委員会開催日、時間及び場所

平成30年9月13日(木) 13時30分から
南砺市井波庁舎 301会議室

2. 主な意見

(1) 児童・生徒一人当たりの学校図書館月平均貸出冊数について

基本施策：自他を尊重し、他を思いやる心の育成（点検・評価報告書 18頁）

学校図書館司書助手は学校図書館を明るくしたり、楽しくしたり、配置の方法を考えてくれたりして、図書委員とタイアップして子どもたちが来たくなるような学校図書館の環境をつくることができる。学校図書館司書助手が充実すれば貸出冊数はさらに増えるのではないかと思う。

(2) スポーツエキスパート派遣事業について

基本施策：健やかな体の育成（点検・評価報告書 20頁）

スポーツエキスパート派遣事業では、子どもたちが競技に精通した指導者に指導していただくことができ、大変有効な事業だと思う。文化部にもスポーツエキスパートのような指導者を派遣することができないか。教員の負担も減り、専門的な指導や生徒の技術向上を目指すこともできる。

(3) ICTの活用、ICT遠隔協働学習について

基本施策：学校教育環境の整備（点検・評価報告書 22頁）

小規模校の子どもたちにとって、遠隔協働学習は多様な考えに触れることができると同時に、考えが深まったり、新しい知識が得られたりするため、とても大事だと思う。ICTの活用は1つのツールとして大事で意味があると思うが、教員の多忙化に拍車がかかるのは間違いない。教員は日々の授業や子どもたちのためにICTの活用に取り組んでいるが、負担が大きく日常化をすることはとても難しいと思う。ICT支援員に気軽に依頼できる体制があると学校も助かると思う。

(4) 情報活用能力、いじめの根絶に関連して

子どもたちのインターネットの利用については、全ての保護者が家庭でのインターネットの利用に注意していると思う。現在はネット依存症も問題となっており、学校生活、家庭生活にも悪影響を及ぼすことが想定される。市

教育委員会でも各学校と連携しながら子どもたちのネット利用について見守っていただきたい。

(5) 指標「アートで遊ぼう」の子ども参加者数について

基本施策：芸術文化活動への支援（点検・評価報告書 42頁）

指標「アートで遊ぼうの子ども参加者数」の目標値は100人になっているが、定員は60人で目標値には届いていない。今後、開催場所や回数を増やしていくことを検討しているのか。

井波美術協会でも類似した事業で、子どもたちが講師の指導のもと石に絵を描く事業を実施している。約20人の子どもたちが参加している。「アートで遊ぼう」と組み合わせて実施することができれば、参加人数が増えるため達成率が高くなる。

(6) 地域子ども・子育て支援事業について

基本施策：幼児教育・保育サービスの充実及び支援（点検・評価報告書 52頁）

南砺市は子育て支援が充実しているため、多くの施策の評価に「A」を付けてほしいと思う。指標にある「就労しながら無理なく子育てできる」のは、保護者の職場が子育てしやすい勤務体系に理解があること、また、子どもが病気になったとき施設に預けることができるかどうかである。保護者のニーズが高い病児保育も検討してほしい。

(7) 放課後児童クラブ事業について

基本施策：児童の居場所づくりの推進（点検・評価報告書 54頁）

市内の放課後児童クラブでは6年生まで受け入れを行っているのは保護者にとって大変ありがたい。他市では受け入れは3年生までで、5,000円程度の費用もかかる。市内では無料が当たり前だと思われるかもしれないが、大変よい制度だと市民にも認識していただく必要がある。

(8) イクメン応援事業について

基本施策：次世代の親の育成（点検・評価報告書 62頁）

初めての子どもの場合、抱っこの仕方やお風呂の入れ方など子どもが産まれたらすぐに取り組まなければいけないことが分からない。「もうすぐパパ講座」では父親になるための心構え等の指導があればよいと思う。

平成30年度
教育委員会事務の点検・評価報告書

南砺市教育委員会
〒932-0292 南砺市井波 520 番地
TEL : 0763-23-2012 FAX : 0763-82-1144